

# 主要な施策の成果報告書



## はじめに

令和3年度は、第5期総合計画後期基本計画の始まりの年で、また都市計画マスタープランの改定を行い、第2期総合戦略は2年目となりました。

新型コロナウイルスへの対応を継続しつつ、社会環境の変化に適応したまちづくりにいかに取り組むべきか、思いをめぐらし、未来を見据えながら、恵庭市の魅力である「水・緑・花」を活かした「人がつながり夢ふくらむまち」づくりに邁進して参りました。

令和3年度の予算は、「新しいまちづくりへの挑戦 令和3年度予算」と名付け、「市民の命を守り、健康に暮らし、共にコロナを乗り越える」として理念を掲げ、これを実現するための重点施策として以下の5本の柱を立て、各事業を推進しております。

- 1 命を守りコロナを乗り越えるまちづくり
- 2 新たな出会いの創出と未来につながるまちづくり
- 3 ガーデンシティの実現に向けた持続可能なまちづくり
- 4 安全で安心して暮らせるまちづくり
- 5 幼児から大人まで 誰もが安心して学べるまちづくり

予算編成においては、増加する扶助費や物件費に加え、コロナ禍による税収の落ち込みや対策経費などを想定し、効果的・効率的に予算を配分しながら、財政調整基金の繰り入れによる財源対策を講じて経常収支を確保しました。

決算では、地方創生臨時交付金を活用してコロナ禍への対応を十分に行いながら、市税や地方交付税などで当初予算を上回ったことにより、実質収支を確保することができましたが、人口減少や収束が見通せない新型コロナウイルスによる歳入・歳出への影響、少子高齢化に伴う扶助費など義務的経費や経常経費の増加への対応、また政策的事業を推進するための安定財源の確保は依然として課題となっております。

このような令和3年度の財政状況において推進した具体的な施策について、総合計画に掲げる5つの基本目標ごとに分類し、行政目的の達成状況などを「主要な施策の成果報告書」としてまとめましたので報告いたします。

## 目 次

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち	
目標01 様々な担い手によるまちづくり.....	414
●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進.....	414
●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進.....	414
目標02 時代のニーズに沿った変革.....	416
●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築.....	416
●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な 財政運営の確立.....	417
●公共施設の適正配置による機能面の充実.....	417
●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付.....	417
目標03 とともに学びともに知る情報.....	418
●市民と行政との情報共有の推進.....	418
●開かれた行政運営の推進.....	418
基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち.....	419
目標04 災害に強い地域防災力.....	419
●防災意識の普及、推進.....	419
●防災情報の的確な発信.....	419
●耐震改修の推進.....	419
目標05 支えあう消防救急体制.....	420
●消防防災体制の充実・強化.....	420
●防火安全対策の推進.....	420
●応急手当普及啓発活動の推進.....	420
目標06 安全安心の日常生活.....	422
●交通安全・防犯活動の推進.....	422
●消費生活相談事業の推進.....	423
目標07 助け合いのちを大切にすまち.....	424
●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び 地域支援の推進.....	424
●自立支援事業の推進.....	425
●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進.....	428
目標08 夢と健康を育むまち.....	429
●第2次健康づくり計画・第3次食育推進計画・自殺対策計画に基づく事業実施....	429
●予防接種・健康診査・がん検診の推進.....	430
●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進.....	433
●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境.....	434
目標09 持続可能な地域医療・介護体制.....	437
●夜間・休日診療体制の維持.....	437
●地域包括ケアシステムの発展.....	437
●医療費の助成.....	439
●国民健康保険・後期高齢者医療の状況.....	441
基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち.....	443
目標10 いきいきと働きやすいまち.....	443
●企業誘致環境の整備.....	443
●多様な人材を活かせる労働環境の整備.....	443
目標11 恵まれた土地を生かした農林業.....	445
●生産基盤整備の充実.....	445
●経営の強化と担い手の育成・確保.....	445
●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進.....	446

目標 1 2	暮らしを支える商業	447
	●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援	447
	●市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進	447
目標 1 3	来てみたいまち 住んでみたいまち	448
	●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出	448
	●移住・定住の促進	450
	●都市間交流の促進	450
基本目標Ⅳ	人が育ち文化育むまち	451
目標 1 4	地域で育む子育て環境	451
	●子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討	451
	●学童クラブ及び保育園、認定こども園における待機児童の解消	456
	●学童クラブ支援員及び保育士等の人材確保と質の向上	457
	●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進	457
目標 1 5	心豊かな思いやりをもった子どもの育成	458
	●体験型事業の推進	458
	●読書活動による子どもの育成	459
目標 1 6	子どもの自立成長を促す学校教育	460
	●ふるさと教育の推進	460
	●教育環境の整備促進	461
目標 1 7	手を取り合い創造性を育む文化芸術	465
	●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進	465
	●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり	468
基本目標Ⅴ	地域資源・都市基盤を活かすまち	469
目標 1 8	地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり	469
	●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進	469
目標 1 9	水と緑豊かな生活空間づくり	470
	●水・緑など恵庭の魅力の維持	470
	●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保	471
	●防衛施設周辺整備等事業の推進	471
目標 2 0	安全で円滑な地域交通	473
	●除排雪の維持	473
	●身近な市民の足の確保（新公共交通システムの構築）	473
	●橋梁耐震化など安全な道路網の維持	474
	●照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持	475
目標 2 1	安定した水供給と持続的な下水処理	476
	●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営	476
	●最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、 安定的・持続的な上下水道事業の運営	476
	●他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、 効率的な資源・エネルギー循環の取組み	477
目標 2 2	住み続けたいまちづくり 住まいづくり	478
目標 2 3	ごみの減量と適正な処理	479
	●ごみ処理施設の整備・適正管理	479
	●ごみの分別・収集体系の構築	479
目標 2 4	次世代へつなげる環境	480
	●地域環境美化活動への支援	480
	●地域に応じた自然環境の保護と管理	480
	●省資源・省エネルギーの促進、普及啓発	480

## 基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

### 目標01 様々な担い手によるまちづくり

恵庭市まちづくり基本条例を基本とし、市民と行政が、それぞれの能力を生かし、役割分担をして課題の解決に取り組む「協働」のまちづくりを推進しました。

#### ●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進

町内会や各種地域団体、ボランティア団体などとのネットワーク化に加え、「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす）」を市民活動の拠点とし、市民主体の活動が行いやすい環境整備に努めるとともに、まちづくりやコミュニティ活動に取り組もうとする団体や市民に対しての支援策を進めました。

- ・市民活動支援補助金（P.61） 1,296千円  
まちづくりチャレンジ協働事業補助金（13団体 12事業） 1,063千円  
学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金（6団体 6事業） 233千円

#### ・市民活動センター推進事業（P.61・64）

町内会・自治会や市民活動団体の自主的・主体的な活動を総合的に支援する「NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会」との協働により、市民活動団体に対し、活動拠点の提供、機器貸出、情報発信などを行い、活動を支援しました。

令和4年3月末現在会員数：118（団体70 個人15 企業33）

備品貸出：105件 印刷利用：392件 ロッカー：3件 展示：13件

市民活動センター情報を回覧等により情報発信

#### ●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進

#### ・地域会館整備事業支援（P.61）

地域会館整備補助金（島松旭町町内会） 12,000千円

#### ・地域会館維持管理・自治活動支援（P.61）

地域会館維持管理費補助金 1,187千円

会館借上費補助金 1,344千円

（島松旭町、島松東町、恵央、相生町、未広）

自治活動交付金 23,397千円

地域会館建物解体補助金（林田北会館、上山口北集会所） 1,000千円

#### ・「えにわ知恵ネット」事業（P.61）

登録団体数 102団体（団体70 個人32）

#### ・地域担当制の実施

平成28年度から3名の地域担当職員を配置し、地域と行政のパイプ役となり協働のまちづくりの推進に取り組みました。

・生活環境改善要望（247件）

・地区町内会連合会役員会等への参加

・市制施行50周年記念事業 (P. 53)

7, 583千円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期していた「記念フォーラム」事業を実施し、「恵庭宣言」として「いつまでも全ての人が心豊かに幸せを実感できる社会を実現するため、様々な共生のまちづくりを進める」ことを確認しました。

○令和3年7月10日 参加者：約300名

- ・基調講演：高島 英也 氏（サッポロホールディングス株式会社顧問）

「競争の中での自立を楽しむ。これからの地方創生」

～サッポロビールがカイタクする未来～

- ・特別講演：進士 五十八 氏（福井県立大学学長）

「共生と多様性からのまちづくり」

- ・分科会

- ・交流による共生のまちづくり
- ・多文化との共生のまちづくり
- ・花や緑との共生のまちづくり
- ・子どもと地域の共生のまちづくり

○令和3年7月11日 参加者：約150名

- ・分科会発表
- ・「恵庭宣言」

## 目標02 時代のニーズに沿った変革

限られた資源のなかで効率的な行政運営を行うため、市民の声を生かし、「選択と集中」を軸として、効率的な行政運営に努めました。

### ●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築

#### ・行政評価による事務事業の大胆な見直し

令和3年度よりスタートした第7次行政改革推進計画における3本柱、「時代に即した業務手法の見直し」、「市民満足度と利便性の向上」、「健全な行財政基盤の強化」に基づき施策を推進しました。

##### ・時代に即した業務手法の見直し

RPA・AI-OCR活用事例紹介・相談会の開催

第6次計画期間中からの事務事業進捗管理 9事業のうち4事業完了、継続5事業  
行政評価マニュアルに基づく市民参加予定の事業調査

##### ・市民満足度と利便性の向上

庁内向け電子申請説明会、操作説明会の実施

行政手続等の押印見直し検討

自治体DX説明会の開催

デジタル化推進計画の策定

##### ・健全な行財政基盤の強化

公共施設等総合管理計画実施計画の進捗管理（削減目標3%）

実施計画における公有財産面積 259,680.53㎡

削減面積の累計 7,341.76㎡（△2.83%）

令和3年度削減面積 553.2㎡（売却等）

#### ・恵庭市デジタル化推進計画の策定

ICTを取り巻く環境や社会情勢の変化、国のICTに関する施策及び本市の現状における課題を踏まえて、市民ニーズを捉えながら、市民の利便性の向上や将来にわたる安定的な行政運営の実現を目指し、ICTの効率的な利活用を推進するため、「恵庭市デジタル化推進計画」を策定しました。

#### ・職員研修の充実

恵庭市人材育成プログラム検討委員会において、職員研修の具体的な取り組みやあり方について検討を行い、人材育成基本方針及び職員研修計画に基づき、行政評価による事務事業の見直し、行政の変革など地域課題への確に対応することができる人材の育成に努めました。

他市と合同研修を計画していましたが、コロナ禍の影響により中止としました。

OJT計画は対象を新規採用職員及び採用2年目職員とし、課題解決への対応を学習し、また、市民の視点に立ったサービス提供に向けて進めています。

##### ・一般研修（階層別研修外）

##### ・特別研修（コンプライアンス研修、プレゼンテーション研修外）

##### ・先進都市派遣研修

#### ・広域共同事業の推進

近隣12市町村で形成される「さっぽろ連携中枢都市圏」に参画し、広域的な連携事業を推進しました。また、千歳市と締結している連携施策の充実拡大に関する覚書による連携事業に取り組みました。

##### ・さっぽろ連携中枢都市圏への参画事業数 50事業

##### ・千歳市との連携事業数 40事業（うち、情報共有 30事業）

着手 5事業（広報等を通じた相互情報発信、職員人事交流検討等）

実施 5事業（共同プロモーションや観光資源等の推進、移住促進等を実施）



●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の  
確立

・市民意識調査の実施

市政やまちづくりに対する市民の評価、ニーズを把握し、第5期恵庭市総合計画後期基本計画の進捗管理に活用するため、市民意識調査を実施しました。

対象：16歳以上80歳未満の市民を対象に2,000名を無作為抽出

回収方法：郵送及びWEB回答

回収数：954（郵送701、WEB253）

・市税・国保税コンビニ収納、クレジット納付の実施

令和3年度も引き続き市・道民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の税目について、コンビニエンスストアでの収納及びクレジットカード、スマホアプリ【PayPay、LINE Pay】による納付を実施し、曜日や時間を問わない収納を行い、継続して納付方法の多様化による利便性の向上を図りました。

納期内納付率の推移

(納付件数/納税義務者数)

	市・道民税（普徴）		固定資産税・都市計画税		軽自動車税種別割		国民健康保険税			
	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3		R2	
1期(6期)	75.7%	76.1%	84.0%	82.4%	82.7%	81.6%	79.7%	(82.9%)	80.8%	(83.5%)
2期(7期)	77.8%	77.7%	86.9%	89.2%			80.1%	(83.2%)	82.5%	(82.4%)
3期(8期)	73.0%	73.1%	87.6%	87.6%			82.7%	(83.6%)	83.6%	(82.8%)
4期(9期)	79.0%	77.3%	91.2%	90.9%			82.3%	(83.3%)	83.0%	(84.7%)
5期(10期)							82.3%	(86.0%)	83.9%	(85.8%)
期別計	76.4%	76.1%	87.4%	87.5%	82.7%	81.6%	82.6%		83.3%	
前年比	+0.3ポイント		△0.1ポイント		+1.1ポイント		△0.7ポイント			
コンビニ	38.3%	38.4%	21.3%	21.3%	51.2%	51.3%	21.6%		20.5%	
アプリ	3.1%	1.9%	1.8%	0.9%	1.5%	1.1%	1.2%		0.6%	
クレジット	1.6%	1.5%	1.5%	1.4%	2.7%	2.3%	0.3%		0.4%	

※コンビニ、スマホアプリ、クレジットの納付率は税目毎の納期内納付総件数に対する割合。

●公共施設の適正配置による機能面の充実

・複合施設の利用促進

市民活動の拠点「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす）」

貸部屋数13か所 来館者数261,221人 各室利用人数64,087人

●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付

・マイナンバーカードの交付円滑化事業（P.81）

予約制、休日・平日夜間交付窓口の開設を継続したほか、申請時来庁方式の開始、出張申請支援、予約コールセンターや予約・管理システムの導入などマイナンバーカードの円滑な交付を図り、市民の利便性が向上する取り組みを実施しました。

休日・平日夜間交付窓口の開設 休日29日、平日夜間61日

マイナンバーカード交付率 47.5%

マイナンバーカード交付数 33,305枚

コンビニ交付サービス利用件数 5,337件（令和2年度 2,909件）

## 目標03 ともに学びともに知る情報

市民ニーズを的確にとらえ、様々な媒体を活用し情報発信を行い、市民と行政が役割と責任を自覚し、お互いに情報を共有しながら透明性の高い開かれた行政運営に努めました。

### ●市民と行政との情報共有の推進

- ・ 広報えにわの充実 (P. 58) 18,367千円
  - 広報えにわ及びくらしのカレンダー発行 400,747部 (月平均33,400部)
  - 生活便利帳 1,500部
  
- ・ コミュニティFMラジオおよびメール配信の活用 (P. 58) 6,627千円
  - 恵庭市からのお知らせ 1日3回、週5回(閉庁日除く)
  - 恵庭市からのお知らせ 土曜日1回、日曜日1回、同日再放送1日3回
  - 恵庭タウンガイド 1日1回、週4回(閉庁日除く)
  - 市民生活課からのお知らせ 週3回
  - みんなで地域防災 金曜日1回
  - 保健センターからのお知らせ 木曜日1回
  - イベント放送(職員の声) 2回
  - メール配信 月2回
  
- ・ 出前講座の実施
  - 実施件数 58回 受講者数 1,362人

### ●開かれた行政運営の推進

市民生活に関する相談窓口の充実を図るため、庁内をはじめ関係機関と連携しながら、安心して相談できる環境づくりを進めました。

- 市民の声(苦情・相談など) 45件
- 弁護士法律相談 36回 189人
- 司法書士法律相談 4回 14人
- 人権委員・行政委員相談 2回 7人
- 総合行政相談 1回 2人

#### ・市民の広場の実施

令和4年1月27日に予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により実施しませんでした。

#### ・パブリックコメントの推進

令和3年度パブリックコメント実施状況(11案件、1名、意見数4件)

#### ・議会文化芸術回廊の設置

市民が議会を身近に感じ、気軽に議場へ足を運んでもらう機会とするため、令和4年度から、えにわアートバンク所属の市内芸術家の作品を議場廊下へ展示するために各種準備を進めました。

## 基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

### 目標04 災害に強い地域防災力

大規模災害に備えて平常時から市民の防災意識の高揚を図るとともに「自助・共助・公助」による協働の仕組みづくり、自然災害対応を見据えた強靱化の推進に努めました。

#### ●防災意識の普及、推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに、防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制の確保に努めました。

##### ・各防災計画の推進 (P.149)

災害時における、避難行動要支援者名簿の整備を進めるとともに、円滑な避難支援実施に向けて、情報提供に同意された方の名簿は、警察・消防・町内会等の関係機関へ提供しました。

また、防災組織づくりのための出前講座や学習会を実施するなど、市民啓発活動を積極的に実施した他、新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所について、専門家の指導の下、学校施設にて具体的検証を実施しました。

- ・避難行動要支援者名簿の更新 平常時名簿： 691名（情報提供同意者）  
災害時名簿：1,627名
- ・出前講座の実施 12回開催、延べ390人参加
- ・防災学習会の実施 5回開催（恵み野小3回、柏小2回）
- ・一日防災学校の実施 3回開催（恵み野中330名、柏陽中300名、恵庭中420名）

##### ・自主防災組織等活動支援助成金 (P.149)

507千円

地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織の活動に対し、経費の一部を助成しました。

- ・令和3年度末 自主防災組織 42組織（昨年度末42組織）
- ・防災資機材整備助成1件、防災訓練等助成12件

##### ・災害用物資備蓄品整備事業 (P.149)

4,004千円

「恵庭市災害用物資備蓄計画」に基づき、緊急時の備蓄を計画的に整備しました。

- ・食料7,628食、紙おむつ3,340枚、簡易トイレ4,900個等

#### ●防災情報の的確な発信

災害時において的確に防災情報を発信できる体制を確保するため、防災行政無線の更新整備を令和3年度に着工しました。

##### ・無線放送施設整備 (P.52)

107,236千円

防災行政無線更新工事 (R3~R4)

#### ●耐震改修の推進

##### ・恵庭市耐震改修促進計画の推進 (P.135~136)

- ・平成22年度「木造住宅耐震診断・耐震改修助成」開始
- 令和3年度実績：診断 8件、改修 1件

## 目標05 支えあう消防救急体制

複雑多様化する災害事象や救急需要に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体、財産を災害から守るため、持てる施設、装備、人員を最大限に活用し、安全・安心なまちづくりに努めました。

### ●消防防災体制の充実・強化

災害による被害の軽減を図るため、消防団の充実、活性化を推進し、消防施設、消防車両、資器材などを整備することにより、消防救急体制の充実強化に努めました。

#### ・消防施設などの整備・更新 (P. 147～149)

- ・消火栓更新整備事業 20基 12,520千円
- ・はしご付消防ポンプ車更新整備事業 1台 29,173千円 (令和3年度分)  
\*リース期間 平成29年2月1日～令和9年1月31日
- ・大型水槽付消防ポンプ自動車更新整備事業 一式 65,002千円
- ・多目的小型動力ポンプ付積載車整備事業 一式 21,275千円
- ・消防団資器材整備事業 一式 1,418千円
- ・消防吏員防火衣等更新整備事業 一式 12,903千円
- ・学生消防サポーター制度 令和3年度 246名登録
- ・12誘導心電図伝送システム整備事業

救命現場で心電図を測定し、医療機関へ伝送するシステムを2器整備しました。医療機関は救急隊の到着前に心電図を閲覧することが可能となり、治療開始までの時間が短縮されるため救命率向上へつながることが期待されます。

#### ・メディカルコントロール体制の充実 (P. 145)

- ・気管挿管認定救命士実習2名 (修了者現在計18名)
- ・気管挿管認定救命士認定者数2名 (修了者現在計18名)
- ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士認定講習3名 (修了者現在計15名)
- ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士実習2名 (修了者現在計10名)
- ・薬剤投与救命士認定者数2名 (認定者現在計32名)
- ・気管挿管救命士再認定講習4名 (修了者現在計13名)

### ●防火安全対策の推進

市民一人ひとりの防火意識を高め、住宅用火災警報器の普及推進を図るとともに、防火対象物における消防設備の維持管理と違反是正対策を強化するなど、防火安全対策を推進しました。

#### ・住宅用火災警報器の設置推進

- ・令和3年度未設置率：75.0% (昨年度末75.0%)
- ・推進活動：出前講座及び訪問指導はコロナ禍の影響により未実施

### ●応急手当普及啓発活動の推進

#### ・応急手当普及啓発活動の推進 (P. 146)

- ・AED (自動体外式除細動器) トレーナーを活用する等の救急救命講習会の実施  
開催状況 上級 (0回・0人) 普通 (32回・220人) 一般 (1回・9人)  
救命入門 (24回・768人)
- ・訓練用及び運営用資器材の更新整備 1式 2,094千円
- ・幅広い世代への救命講習受講促進を目的としたポケモンイラスト入り修了証の交付継続
- ・救急車適正利用ステッカー配布状況  
配布施設数 (令和3年度末)：88施設 全施設配布完了

- ・北海道ハイテクノロジー専門学校との連携によるPRの推進

救命講習に対する認知度向上及び重要性のPRを強化することを目的に、学生と協働で動画及びデザイン画（ポスター・マグネット等）を制作し、効果的な広報推進に取り組みました。

- ・AEDの普及・促進（P.146）

- ・AED設置施設表示証交付状況

表示証交付施設数（令和3年度末）：203施設

## 目標06 安全安心の日常生活

地域ぐるみで、交通事故・犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、消費生活知識の普及啓発や、無料法律相談を実施しました。

### ●交通安全・防犯活動の推進

「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画（令和3年度～令和7年度）」に従い、地域や関係団体、警察署と連携をとりながら、防犯灯の設置など環境の整備や広報啓発活動を通じた市民一人ひとりの交通安全及び防犯意識の高揚を図り、市民と協働による安全安心なまちづくりを進めました。

#### ・自主防犯活動の促進（P.60）

##### 1) 地域安全ニュースの発行

市内で発生した犯罪等を記載した啓発紙を毎月発行し、市民の防犯意識の高揚を図りました。

##### 2) 歳末警戒巡回パトロール及び地域安全運動の実施

令和3年12月17日、18日に金融機関、コンビニ、駅にて実施

##### 3) 青色回転灯車によるパトロール及び防犯パレードの実施

#### ・防犯灯等の設置状況（P.60）

1,734千円

令和3年度新設設置状況 防犯灯 18箇所

#### ・防犯カメラ設置補助（P.60）

640千円

令和3年度設置補助金 4町内会等、4台設置

#### ・交通安全啓発活動の実施（P.58～59）

##### 1) 人身事故発生状況（各年12月末現在）（人）

区分 年	発生件数	負傷者	死者
R3年	101	122	0
R2年	104	133	1
比較	△3	△11	△1

##### 2) 交通安全啓発事業

・交通安全警戒・注意等の看板の設置 26基

・交通安全運動の実施 4期（4月・7月・9月・11月）40日

・自転車マナー啓発の実施 恵庭駅1回、恵み野駅1回、島松駅1回、恵庭北高校1回、恵庭南高校2回

・交通公園利用実績 団体利用1,647人、個人利用10,263人

・ドライブシミュレータを活用した高齢者安全講習2回

・自転車シミュレータを活用した安全運転診断1回

・交通安全教室の開催 (人)

区分	幼稚園・保育園・認定こども園	小学校	老人クラブ	町内会等	合計
回数	52	41	1	1	95
参加人員	2,933	3,203	26	14	6,176

##### 3) 運転免許証自主返納出張窓口の開設

開設回数12回、免許証返納者数130人

##### 4) 交通指導員の活動

・交通安全指導員（12名）

4期40日の交通安全運動期間中における街頭指導並びに交通安全啓発活動の実施

・交通安全児童指導員（8名）

市内各小学校の登下校時の街頭指導及びこぐまクラブ・小学校・町内会等で交通安全教室開催

・交通安全対策交付金事業 (P.139)

10,000千円

・区画線塗布工事

区 分	中心線(m)	外側線(m)	ドット線(m)	路面表示(m)
R3年度	28,309	28,907	856	115
R2年度	28,499	32,890	786	233
比 較	△190	△3,983	70	△118

●消費生活相談事業の推進

悪質かつ巧妙化する消費トラブル等に迅速、的確に対応するため、消費生活相談員の配置や消費者協会と連携し出前講座を開催するなど消費者の保護及び被害の未然防止に取り組みました。

・消費生活相談及び小売価格調査等の実施 (P.60~61)

6,614千円

消費生活相談業務

区 分	R3年度	R2年度	増 減
相談件数	384	419	△35

(相談内訳)

区 分	契約・金銭 トラブル	サイト 登録等	通信販売	勧誘 訪問販売	架空請求	問合せ	その他	計
件 数	96	22	110	28	10	27	91	384

消費者出前講座

講 座 内 容	回 数	人 数
高齢者等消費者教育について	4回	76人

- 1) パネル展の開催 4回
- 2) 小売価格調査事業(灯油・ガソリン・軽油・LPガス)  
調査回数：毎月1回  
調査地区：17店舗
- 3) 試買量目調査の実施状況  
実施回数：年1回  
調査品目：生鮮食料品 6品目  
調査地区：9店舗
- 4) 地域消費者問題懇談会の開催 参加者27人
- 5) 消費者被害防止セミナー開催  
テーマ：特殊詐欺被害防止について 参加者：36人
- 6) 市内街頭啓発の実施 年6回
- 7) 消費者被害防止ネットワークの推進 情報発信12件

・無料法律相談の実施 (P.58 目標3に別掲)

1,188千円

弁護士法律相談	36回	189人
司法書士法律相談	4回	14人

## 目標07 助け合いのちを大切にすまち

市民一人ひとりの人権が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民一人ひとりが人権尊重についての理解を深め、自立した生活ができるように支援を推進しました。

### ●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び地域支援の推進

(P. 91・98～99)

#### ・児童通所支援等福祉サービス

区 分	児童発達支援事業			放課後等デイサービス事業			保育所等訪問支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R3年度	6,618	147	68,354	21,417	177	215,979	45	5	465
R2年度	5,418	149	40,519	18,060	164	189,248	50	4	509
比較	1,200	△2	27,835	3,357	13	26,731	△5	1	△44
区 分	医療型児童発達支援事業			短期入所事業			居宅介護事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
R3年度	0	0	0	473	11	14,286	437	6	3,303
R2年度	0	0	0	416	11	11,113	325	6	2,341
比較	0	0	0	57	0	3,173	112	0	962
区 分	居宅訪問型児童発達支援事業								
	利用回数	実人員	金額(千円)						
R3年度	0	0	0						
R2年度	0	0	0						
比較	0	0	0						

#### ・地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			訪問入浴サービス支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R3年度	883	8	3,538	8	1	91
R2年度	717	7	2,970	23	1	264
比較	166	1	568	△15	0	△173
区 分	日中一時支援事業			日中一時支援事業(重度入浴型)		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R3年度	27	2	35	58	3	724
R2年度	58	6	65	102	5	1,260
比較	△31	△4	△30	△44	△2	△536



・子ども発達支援センター事業

区 分	障がい児通所支援			市町村中核子ども発達支援センター事業				
	児童発達支援	放課後等 サービス	保育所等 訪問支援	センター 基本相談	乳幼児健診		乳幼児発達 支援教室	巡回発達 相談
					1歳6ヵ月 健診	3歳児 健診		
R3年度	3,573	事業中止	44	97	30	45	74	27
R2年度	4,107	28	49	90	26	38	103	31
比較	△534	△28	△5	7	4	7	△29	△4
区 分	相談支援事業		小児神経医に よる発達相談	合 計				
	障がい児 相談支援	特定相談支援						
R3年度	718	70	44	4,722				
R2年度	771	101	46	5,390				
比較	△53	△31	△2	△668				

●自立支援事業の推進 (P. 86～94・107～108)

- ・ボランティア活動推進事業 市補助 931千円
- ・認知症高齢者対策事業 市補助 186千円
- ・民生・児童委員連絡協議会活動の促進 市補助 11,126千円
- ・障がい者就労支援事業の推進  
農福連携による就労機会の提供  
延参加者数 3,248人

・障がい者自立支援事業の推進

1)障がい者施設系サービス (自立支援給付)

区 分	居住系サービス		日中活動系サービス				
	施設入所 支援	共同生活援助 (グループホーム)	生活介護	就労移行 支援	就労継続A	就労継続B	自立訓練
R3年度	90	122	207	35	68	277	4
R2年度	91	105	205	30	69	264	8
比較	△1	17	2	5	△1	13	△4

区 分	合 計	
	実人員	金額(千円)
R3年度	803	1,369,047
R2年度	772	1,296,410
比較	31	72,637

※人員は新体系の利用者で居住系及び日中活動系サービスの双方を利用している者は、それぞれの人数に計上

・地域活動支援事業の実施

区 分	地域活動支援センター	
	設置箇所	利用延人数
R3 年度	1	2,411
R2 年度	1	1,769
比 較	0	642

・在宅支援サービスの状況

1) 身体障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			日中一時支援事業（ケア型）			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R3 年度	6,219.0	33	32,020	0	0	0	60	4	2,038
R2 年度	5,529.0	36	26,232	0	0	0	68	3	2,069
比 較	690.0	△3	5,788	0	0	0	△8	1	△31

2) 知的障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R3 年度	1,027.5	16	5,705	307	11	2,516
R2 年度	1,115.5	17	5,772	603	21	4,917
比 較	△88.0	△1	△67	△296	△10	△2,401

3) 精神障がい者支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R3 年度	494.5	11	2,629	18	2	171
R2 年度	431.0	9	2,309	0	0	0
比 較	63.5	2	320	18	2	171

区 分	就労継続 A			就労継続 B			就労移行		
	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R3 年度	6,458	36	54,425	16,088	124	122,296	1,454	17	15,345
R2 年度	6,513	40	49,828	12,403	118	93,967	1,235	17	12,795
比 較	△55	△4	4,597	3,685	6	28,329	219	0	2,550

4) 精神障がい者地域活動支援センター等通所交通費助成

区 分	通所施設数	実人員	助成日数
R3 年度	16	24	2,495
R2 年度	16	18	2,201
比 較	0	6	294

5) 地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R3 年度	1,058	39	2,080	141	10	524
R2 年度	329	24	1,185	58	13	101
比 較	729	15	895	83	△ 3	423

・相談支援体制

恵庭市障がい者総合相談支援センター「e-ふらっと」

区 分		身体	知的	精神	重度 心身	発達	高次 脳機能	難病等 その他	障がいの 重複分	総計
R3 年度	相談実件数	130	479	601	3	142	13	101	191	1,278
	相談延件数	431	1,976	2,744	3	347	37	266	577	5,227
R2 年度	相談実件数	329	1,425	895	5	244	34	142	453	2,621
	相談延件数	1,356	6,048	3,599	17	861	134	423	1,924	10,514
比 較	相談実件数	△ 199	△ 946	△ 294	△ 2	△ 102	△ 21	△ 41	△ 262	△ 1,343
	相談延件数	△ 925	△ 4,072	△ 855	△ 14	△ 514	△ 97	△ 157	△ 1,347	△ 5,287

・老人憩の家利用状況

区 分	利用者数	開館日数	1日あたりの 利用者数平均
福 住	977	293	3
和 光	6,936	262	26
大 町	4,609	262	17
柏 陽	4,824	272	17
恵み野	6,757	272	24
島 松	7,508	273	27
東恵庭	554	279	1
合 計	32,165	1,913	115

・介護保険施設等高齢者対策推進事業 対象者 347人(75歳以上) 1人1,235円

・老人健康ハイキング コロナ禍の影響により中止

・老人クラブ運営事業の推進 単位老人クラブ運営費補助 32クラブ 1,530千円

・敬老祝品贈呈事業 77歳672人、100歳17人 計2,709千円

・福祉バスの運行 運行日数120日 利用者数2,707人

・生活保護の状況（年度末）

区 分	保護世帯数	保護者数
R3 年度	752	957
R2 年度	749	958
比 較	3	△ 1

区 分	R 3 年 度		R 2 年 度		比 較	
	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）
生活扶助	9,969	434,929	9,974	434,601	△ 5	328
住宅扶助	10,084	202,781	10,251	197,894	△ 167	4,887
教育扶助	650	6,026	617	6,192	33	△ 166
介護扶助	2,270	21,502	2,305	26,938	△ 35	△ 5,436
医療扶助	9,971	802,016	10,162	867,693	△ 191	△ 65,677
生業扶助	247	2,972	327	3,362	△ 80	△ 390
葬祭扶助	13	3,158	8	3,204	5	△ 46
出産扶助	2	406	-	-	2	406
施設事務費	-	-	-	-	0	0
就労自立給付金	14	637	5	180	9	457
進学準備給付金	3	500	5	400	△ 2	100
合 計	33,223	1,474,927	33,654	1,540,464	△ 431	△ 65,537

●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進

・男女共同参画推進事業（P. 71）

154千円

- ・情報紙「さくらんぼ」の発行 1回（3月）
- ・パネル展示の実施
  - 男女共同参画推進週間（6月 恵庭駅西口空中歩廊）
  - 女性に対する暴力をなくす運動（11月 恵庭駅西口空中歩廊）
- ・男女共同参画フォーラム コロナ禍の影響により中止
- ・啓発事業
  - デートDV啓発パンフレットの作成、ポスターの掲示、パンフレット等の配布
- ・キャッチフレーズ募集事業
  - 市内中学校より男女共同参画キャッチフレーズを募集し、内閣府で募集するコンテストに応募すると共に、応募があったものを啓発に活用
- ・恵庭市男女共同参画推進協議会設立に係る事務支援
  - 役員会6回参加、男女共同参画情報誌「Diverse」発行に係る事務支援

## 目標08 夢と健康を育むまち

子どもから高齢者まで日々健やかに暮らせるまちの実現を図り、ライフステージに合わせた健康づくりや生活習慣病の予防、改善、予防接種や検診事業などの支援を推進しました。

### ●第2次健康づくり計画・第3次食育推進計画・自殺対策計画に基づく事業実施 (P. 110～112・229～230)

#### ・健康教育・健康相談事業の充実 保健課及び健康スポーツ課

区 分	健康増進事業		出前講座 普及啓発		ハルディックウォーキング 講習会		健康相談	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	延人員	回数	延人員
R3年度	6	135	153	3,515	4	43	589	1,154
R2年度	11	227	120	2,860	4	43	704	1,083
比 較	△ 5	△ 92	33	655	0	0	△ 115	71

#### ・歩くことを通したまちづくり事業の実施

区 分	参加数	休憩所数	休憩所利用者数
R3年度	2,332	43	2,362
R2年度	1,565	16	1,471
比 較	767	27	891

#### ・食育推進事業の推進

区 分	食育講座・講話		講演会		食育推進 協議会回数	食育展示 回数
	回数	参加数	回数	参加数		
R3年度	0	0	1	33	2	4
R2年度	6	24	1	31	2	2
比 較	△ 6	△ 24	0	2	0	2

#### ・歯科口腔保健普及啓発事業 ※R2、R3 コロナ禍の影響により中止

区 分	歯科医師健口教室	
	回数	人数
R3年度	0	0
R2年度	0	0
比 較	0	0

#### ・こころの健康づくり普及啓発

区 分	講演・学習会		ゲートキーパー養成講座		出前講座		パネル等展示	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	日数
R3年度	1	34	0	0	3	188	7	160
R2年度	0	0	0	0	3	181	5	126
比 較	1	34	0	0	0	7	2	34

・こころの健康相談

区 分	電話相談		来所相談		訪問		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
R3 年度	29	149	12	32	2	20	43	201
R2 年度	42	114	12	27	1	8	55	149
比 較	△ 13	35	0	5	1	12	△ 12	52

・高齢者介護予防事業の実施

区 分	介護予防普及啓発事業								地域介護予防活動支援事業					
	講演会		高齢者健康教室		老人クラブ 健康教育		えにわ ウェルカム 75		百歳体操サポーター 養成講座			サロン支援		
	回数	人 員	回数	延人員	回数	人 員	回数	人 員	回数	実人員	延人員	回数	延人員	
R3 年度	1	59	4	68	20	413	5	60	5	35	59	29	452	
R2 年度	2	288	4	44	11	191	—	—	5	42	75	28	437	
比 較	△ 1	△ 229	0	24	9	222	—	—	0	△ 7	△ 16	1	15	

区 分	短期集中予防事業				介護予防把握事業			
	通所型		訪問型		70 歳訪問		その他	
	回数	延人数	回数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R3 年度	3	16	2	6	267	297	32	63
R2 年度	24	245	0	0	206	230	31	53
比 較	△ 21	△ 229	2	6	△ 61	△ 67	1	10

※「百歳体操サポーター養成講座」は令和 2 年度より実回数を記載

※「えにわウェルカム 75」は令和 3 年度から実施

●予防接種・健康診査・がん検診の推進

・エキノコックス症予防対策事業

区 分	受診数	擬陽性	陽性	中止
R3 年度	33	0	0	0
R2 年度	39	0	0	0
比 較	△ 6	0	0	0

・予防接種事業

区 分	BCG 接種	四種混合	不活化 ポリオ	二種混合 (11~13 歳未満)	麻しん	風しん	混合 (麻風しん)	ヒブ
R3 年度	451	1,804	0	458	0	0	986	1,811
R2 年度	420	1,751	0	505	0	0	987	1,750
比 較	31	53	0	△ 47	0	0	△ 1	61

区 分	小児用 肺炎球菌	子宮頸 がん	水痘	日本 脳炎	B 型 肝炎	インフルエンザ	肺炎球菌 (定期)	風しんの追加的対策	
								抗体検査	予防接種
R3 年度	1,810	149	821	2,036	1,350	9,623	585	364	59
R2 年度	1,714	1	891	3,427	1,276	11,303	747	972	134
比 較	96	148	△ 70	△ 1,391	74	△ 1,680	△ 162	△ 608	△ 75

区 分	ロタウイルス (ロタテック)	ロタウイルス (ロタリックス)
R3 年度	903	294
R2 年度	318	140
比 較	585	154

○日本脳炎は H28.4 より実施 ○B 型肝炎は H28.10 より実施

○風しんの追加的対策は H31.4 より実施 ○ロタウイルスは R2.10 より実施

・健康診査事業・各種がん検診事業の充実

区 分	健康診査・保健指導		肝炎ウイルス検診		
	受診者数	保健指導数	受診者数	C 型陽性	B 型陽性
R3 年度	41	5	417	0	3
R2 年度	39	3	541	0	5
比 較	2	2	△ 124	0	△ 2

○「要精検」「発見がん」の件数については、令和 2 年度は実績値、令和 3 年度は令和 4 年 5 月末現在

○子宮がん検診は、頸部・体部  
※がん検診推進事業分含む

区 分	胃がん検診			大腸がん検診			肺がん・結核検診		
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん
R3 年度	1,577	148	3	2,178	184	7	1,990	82	2
R2 年度	1,468	93	1	1,970	204	2	1,797	77	0
比 較	109	55	2	208	△ 20	5	193	5	2

区 分	子宮がん検診 ※			乳がん検診 ※			成人歯科健診・相談 (集団)			
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	回数	受診数	要指導	要医療
R3 年度	848	23	0	996	38	1	0	0	0	0
R2 年度	632	20	2	740	34	3	7	72	5	60
比 較	216	3	△ 2	256	4	△ 2	△ 7	△ 72	△ 5	△ 60

※成人歯科検診・相談は、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

区 分	歯周疾患検診 (令和 3 年度新規事業)				
	受診数	妊婦	節目	要指導数	要精検者数
R3 年度	247	70	177	65	141

・妊産婦健康診査費用の助成

区 分	妊婦健康診査受診票		妊婦一般健診 助成数	超音波検査 助成数	産婦健診 助成数
	受診人数	助成数			
R3 年度	715	7,289	5,017	2,272	666
R2 年度	711	7,681	5,299	2,382	226
比 較	4	△ 392	△ 282	△ 110	440

・産後ケア事業

区 分	実数	延数	利用実績
R3 年度	10	20	20 泊・延長 2 回
R2 年度	3	4	9 泊・延長 1 回
比 較	7	16	

・妊婦にやさしい環境づくり事業（マタニティマークストラップ）

区 分	配布数
R3 年度	415
R2 年度	459
比 較	△ 44

・特定不妊治療費用の助成

区 分	件数
R3 年度	47
R2 年度	44
比 較	3

・子育て世代包括支援センター事業

区 分	相談			セルフプラン作成件数				
	来所	電話	計	妊娠期	産後期	乳児期	幼児期	計
R3 年度	14	29	43	443	419	606	71	1,539
R2 年度	2	29	31	509	383	1,223	1,015	3,130
比 較	12	0	12	△ 66	36	△ 617	△ 944	△ 1,591

※令和 3 年度よりプラン作成対象者を変更

・母子保健指導

区 分	赤ちゃん 家庭訪問	養育支援 家庭訪問		乳幼児 相談日		来所 相談	妊婦教室 両親教室	
	訪問世帯数	実数	延数	回数	件数	件数	回数	人数
R3 年度	430	44	62	12	228	57	3	25
R2 年度	430	41	62	9	119	55	3	28
比 較	0	3	0	3	109	2	0	△ 3

区 分	育児教室		子育て講話		思春期保健		5 歳児相談	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
R3 年度	5	69	7	63	6	189	3	20
R2 年度	4	50	7	74	0	0	2	15
比 較	1	19	0	△ 11	6	189	1	5

・歯科保健対策の実施  
(う歯予防)

区 分	フッ素塗布者数
R3 年度	172
R2 年度	0
比較	172

※R2 コロナ禍の影響により中止



・乳幼児健康診査事業の実施

(乳児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察
R3 年度	913	10	173
R2 年度	853	6	220
比 較	60	4	△ 47

(先天性股関節脱臼検診)

区 分	受診者数	有所見	要治療
R3 年度	415	3	0
R2 年度	404	11	0
比 較	11	△ 8	0

(新生児聴覚検査)

区 分	受診者数	要精検
R3 年度	448	5

(1歳6か月児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R3 年度	442	7	122	356
R2 年度	479	4	149	442
比 較	△ 37	3	△ 27	△ 86

(3歳児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R3 年度	470	42	138	424
R2 年度	547	25	144	527
比 較	△ 77	17	△ 6	△ 103

・特定健診・脳ドック等各種検診事業 (P. 190～191・205～206)

(国民健康保険特定健康診査・脳ドックの状況)

区 分	特定健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	2,507	26,422	107	1,691	2,614	28,113
R2 年度	2,471	26,169	206	3,248	2,677	29,417
比 較	36	253	△99	△1,557	△63	△1,304

(後期高齢者医療健康診査・脳ドック・歯科健診の状況)

区 分	健康診査		脳ドック		歯科健診		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	944	10,216	100	1,594	145	649	1,189	12,459
R2 年度	1,142	12,788	201	3,203	179	768	1,522	16,759
比 較	△198	△2,572	△101	△1,609	△34	△119	△333	△4,300

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため国民健康保険の保健事業、介護予防事業と一体的に高齢者の保健事業に取り組みました。

- ・ハイリスクの高齢者に対する個別的支援

健診結果から、低栄養や口腔機能の低下、生活習慣病等のリスクがある方、また、年度内に77歳に到達し、前年度に医療機関未受診かつ健診未受診である方等に対して訪問等を行いました。

- ・通いの場等への積極的な関与

保健師や栄養士、歯科衛生士によるフレイル・低栄養・オーラルフレイル予防に関する講話を行ったほか、フレイル予防を目的とした高齢者健康づくり教室(プレミアム健康度チェック)を実施しました。また、年度内に75歳に到達する人を対象に、後期高齢者医療制度の説明や、フレイル予防を目的とした健康講話、身体測定等を行う「えにわウェルカム75」事業を実施しました。

●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境

・スポーツイベントの充実 (P. 116)

(市民スポーツ交流機会の開催状況)

(単位：人)

大会名	期日	会場	参加人数
えにわ健康・スポーツフェスティバル	中止	-	0
少年少女ミニバレー大会	中止	-	0
恵庭クロスカントリースキー大会	中止	-	0
市民スポーツ大会 (8 団体)	通年	市内体育施設他	925
合計	-	-	925

・各種スポーツ機会の提供 (P. 116~117)

(スポーツ教室・講習会等の開催状況)

(単位：人)

事業名	期間/回数	会場	参加人数
フィットネスエクササイズ*	通年 34 回	総合体育館	896
各種スポーツ実技指導*	通年 165 回	総合体育館他	3,686
ニュースポーツ教室	中止	-	0
スポーツ少年団スポーツテスト会	中止	-	0
合計	-	-	4,582

※指定管理者委託事業

・競技力向上事業 (P. 116)

(単位：人)

事業名	期間	会場	参加人数
セカンド・サマーカップ PRESENTS シニアスポーツクリニック(サッカー)	中止	-	0
セカンド・サマーカップ PRESENTS シニアスポーツクリニック(テニス)	中止	-	0
セカンド・サマーカップ PRESENTS シニアスポーツクリニック(バスケット)	中止	-	0
合計	-	-	0

・スポーツ団体の育成・強化 (P. 116)

1) 市内スポーツ団体の会員登録状況

(単位：団体、人)

区分	体育協会		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数
R3 年度	22	1,911	34	935
R2 年度	22	1,994	33	866
比較	0	△ 83	1	69

## 2) スポーツ振興基金運用事業

(単位：人、団体)

区 分	対象者		種 目
	個 人	団 体	
国際大会	1	0	アイスホッケー
全国大会	33	10	陸上、バレーボール、空手道、テニス、柔道、サッカー、新体操、バスケットボール他
高校総体	6	3	陸上、卓球、空手道、少林寺拳法、バスケットボール、ボクシング
高校選抜	0	6	スキー、卓球、空手道、新体操
国民体育大会	0	1	卓球
全道大会	18	11	陸上、バレーボール、空手道、テニス、柔道、サッカー、新体操、バスケットボール他
合 計	58	31	

## ・屋内体育施設の整備充実 (P.116~117)

## 1) 屋内体育施設の維持補修事業

- ・屋内体育施設備品購入

12,316千円

## 2) 屋内スポーツ施設等利用状況

(単位：人)

区 分	R3年度		R2年度		比 較
	個 人	団 体	個 人	団 体	
総合体育館	45,773	53,782	59,664	29,996	9,895
島松体育館	6,481	16,614	7,352	16,932	△ 1,189
駒場体育館	2,498	11,198	3,560	11,225	△ 1,089
福住屋内運動広場	1,855	12,805	2,116	14,325	△ 1,781
合 計		151,006		145,170	5,836

※団体の利用状況に大会を含む

※総合体育館は、団体の利用状況に新型コロナワクチン接種を含む

## 3) 学校開放事業の利用状況

(単位：団体、人)

区 分	R3年度	R2年度	比 較
利用団体数	117	93	24
利用者数	21,459	18,367	3,092

※H28より少年団に対する学校教育体育施設開放については教育長裁量による開放につき利用数からは除外

・屋外体育施設の整備充実 (P. 117~118)

1) 屋外スポーツ施設利用状況

(単位：人)

区 分	R3 年度	R2 年度	比 較
恵庭公園野球場	5,196	5,994	△ 798
恵み野中央公園野球場	4,843	4,072	771
かしわ公園野球場	1,134	1,595	△ 461
恵庭公園庭球場	7,009	9,323	△ 2,314
恵み野中央公園庭球場	4,848	6,779	△ 1,931
中島公園庭球場	5,237	7,839	△ 2,602
ふるさと公園庭球場	789	788	1
めぐみの森公園庭球場	60	166	△ 106
あやめ緑地公園庭球場	151	91	60
恵庭公園陸上グラウンド	5,282	6,580	△ 1,298
恵庭公園球技場	8,070	17,650	△ 9,580
島松屋外運動場	4,743	17,113	△ 12,370
市民スケート場(夏期)	608	425	183
市民スキー場(夏期)	0	0	0
市民スケート場(冬期)	7,675	11,291	△ 3,616
市民スキー場(冬期)	9,784	5,393	4,391
島松スケート場(冬スピード)	5,338	5,105	233
島松スケート場(冬ホッケー)	0	0	0
恵庭中央パークゴルフ場	14,856	16,831	△ 1,975
漁川カワセミパークゴルフ場	6,831	7,644	△ 813
漁川アイリスパークゴルフ場	3,415	4,487	△ 1,072
島松パークゴルフ場	2,068	2,973	△ 905
えなみ公園パークゴルフ場	0	0	0
北栄会館パークゴルフ場	391	608	△ 217
合 計	98,328	132,747	△ 34,419

2) 市民水泳プール利用状況 コロナ禍の影響によりR2・R3開設なし

区 分	R3 年度	R2 年度	比 較
恵庭水泳プール	0	0	0
島松水泳プール	0	0	0
柏水泳プール	0	0	0
和光水泳プール	0	0	0
東恵庭水泳プール	0	0	0
若草水泳プール	0	0	0
恵み野水泳プール	0	0	0
恵み野旭水泳プール	0	0	0
合 計	0	0	0

3) 恵庭南高校水泳プール利用状況 コロナ禍の影響により開設なし

## 目標09 持続可能な地域医療・介護体制

安心して医療が受けられる環境を整備します。

利用者のニーズに応じた介護サービスの質の確保と向上をめざし、地域密着型サービスについては指定、指導監督を行うなど、適正な介護サービスの運営に努めました。

保健・医療・福祉の関係機関と地域が連携し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立し、健康づくりと介護予防対策の強化・充実に努めました。

国民健康保険事業の安定、医療費補助制度の推進など、医療保障の充実に努めました。

### ●夜間・休日診療体制の維持 (P. 110~111)

医療の空白時間の解消のため、夜間・休日急病診療所の運営を行いました。

#### ・休日・夜間診療事業

区 分	休 日		土 曜 日		夜 間		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
R3 年度	66	494	51	160	359	784	1,438
R2 年度	66	419	50	104	359	781	1,304
比 較	0	75	1	56	0	3	134

#### ・救急医療システム

設置箇所：夜間急病診療所1ヵ所、救急告示病院3ヵ所、消防署1ヵ所

### ●地域包括ケアシステムの発展 (P. 225~233)

#### ・高齢者の状況

区 分	令和4年3月末	令和3年3月末
総人口	70,033 人	69,994 人
高齢者数	19,899 人	19,647 人
高齢化率	28.4 %	28.1 %

#### ・審査会の状況

	R3 年度	R2 年度
審査会回数	46 回	45 回
審査件数	1,627	1,772
審査件数/回	35 件	40 件

#### ・要介護認定等の状況(第1号被保険者)

認定者数(令和4年3月末)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	580	521	693	475	301	313	222	3,105

#### ・介護保険サービスの利用状況(第1号被保険者)

居宅サービス受給者数(令和4年3月審査分)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	275	331	514	349	166	116	66	1,817

施設サービス受給者数(令和4年3月審査分)

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	計
人 数	104	191	42	11	348

地域密着型サービス受給者数(令和4年3月審査分)

区 分	地域密着型サービス
人 数	533

・第1号被保険者の保険料の状況

所得段階	保険料(円)	被保険者数	割合	所得段階	保険料(円)	被保険者数	割合
第1段階	11,500	3,644	18.6%	第7段階	74,800	3,313	17.0%
第2段階	17,200	1,744	8.9%	第8段階	86,400	1,270	6.5%
第3段階	31,600	1,495	7.7%	第9段階	100,800	376	1.9%
第4段階	48,900	2,474	12.7%	第10段階	106,500	447	2.3%
第5段階	57,600	2,449	12.5%	計		19,538	100%
第6段階	72,000	2,326	11.9%				

・保険料の収納状況

	R3	R2
収納率	99.92%	99.89%

・保険料の減免状況

人数	減免額
6	263,000円
うち新型コロナウイルスに係る減免	
4	227,500円

・介護保険サービス利用者負担軽減事業

社会福祉法人による生活困窮者に対する軽減措置(利用者負担のうち1/4を軽減)

対象者数 56人 経費 1,399千円

・高齢者相談支援事業

区分	相談者数(人)	相談件数(件)
高齢者相談窓口	577	761

・地域包括支援センターの設置

(高齢者相談事業)

区分	みなみ包括		ひがし包括		きた包括		中島・恵み野包括		計	
	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数
高齢者(一般)	227	1,008	204	804	112	599	186	1,057	729	3,468
総合事業対象者	69	780	59	520	24	573	30	537	182	2,410
要支援者	279	3,479	263	2,250	123	2,611	127	4,096	792	12,436
要介護者	64	407	51	313	10	208	30	535	155	1,463
障がい者	2	16	1	1	1	14	0	0	4	31
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	641	5,690	578	3,888	270	4,005	373	6,225	1,862	19,808

・福祉サービスの推進

事業名	利用者数	年間利用(日・回)数
配食サービス事業	163人	29,820食
外出支援サービス事業	98人	2,009回
訪問理美容サービス事業	12人	35回
除雪サービス事業	441世帯	10,286回出動

・ひとり暮らし高齢者等対策事業の推進

- ・緊急通報システム端末機貸与事業 年度末設置台数 249 台（固定 33 台、携帯 216 台）
- ・訪問サービス事業 利用者数 9 人、配布した乳酸飲料 345 本

・家族介護支援事業の推進

事業名	実施概要
介護教室事業	開催回数：1 回 参加者数 40 人
家族介護者交流事業	合同交流：開催回数 2 回 参加者数 23 人 随時交流：5 回 参加者数 36 人
家族介護用品支給事業	利用者数 33 人
介護支援専門員支援事業	利用件数 36 件
成年後見制度利用支援事業	利用件数 6 件 市長申立 2 件

●医療費の助成

・重度障がい者医療費の助成（P. 94）

（受給者数）

区分	身障者	3 級外部	知的障がい者	精神障がい者	合計
R3 年度	1,083	282	198	18	1,581
R2 年度	1,068	285	199	19	1,571
比較	15	△ 3	△ 1	△ 1	10

（助成金額） 道補助対象分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	1,478	27,894	22,248	61,390	23,726	89,284
R2 年度	1,513	27,564	21,707	60,347	23,220	87,911
比較	△ 35	330	541	1,043	506	1,373

（助成金額） 市単独分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	249	5,725	5,305	10,760	5,554	16,485
R2 年度	288	6,296	5,195	10,540	5,483	16,836
比較	△ 39	△ 571	110	220	71	△ 351

（助成金額） 合計

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	1,727	33,619	27,553	72,150	29,280	105,769
R2 年度	1,801	33,860	26,902	70,887	28,703	104,747
比較	△ 74	△ 241	651	1,263	577	1,022

・子ども医療費の助成 (P. 97～98)

(受給者数)

区 分	0～2歳児	3～6歳児	小学生	中学生	合 計
R3 年度	1,240	1,935	1,670	27	4,872
R2 年度	1,273	2,014	1,738	31	5,056
比 較	△ 33	△ 79	△ 68	△ 4	△ 184

※H31.4より小学1～3年生の通院助成を開始

(助成金額)

区 分	入院 (未就学児)		入院外 (未就学児)		入院 (小学生)		通院 (小学生)	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	521	18,474	50,549	68,626	51	1,720	17,116	20,751
うち道補助対象分	521	16,579	50,549	53,692	51	1,720	-	-
うち市単独分(一部)	82	1,895	24,151	14,934	-	-	-	-
うち市単独分(全部)	-	-	-	-	-	-	17,116	20,751
R2 年度	415	14,069	43,919	52,964	51	1,693	16,509	20,148
比 較	106	4,405	6,630	15,662	0	27	607	603

区 分	入院 (中学生)		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	26	753	68,263	110,324
うち道補助対象分	-	-	51,121	71,991
うち市単独分(一部)	-	-	24,233	16,829
うち市単独分(全部)	26	753	17,142	21,504
R2 年度	14	491	60,908	89,365
比 較	12	262	7,355	20,959

※H31.4より小学1～3年生の通院助成を開始

(未熟児養育医療費助成)

区 分	実人数 (人)			件数 (件)			助成金額 (千円)		
	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計
R3 年度	20	20	40	50	46	96	4,262	630	4,892
R2 年度	17	16	33	40	35	75	3,616	688	4,304
比 較	3	4	7	10	11	21	646	△ 58	588



・ひとり親家庭等医療費の助成 (P. 85)

(受給者数)

区 分	親	子	計
R3 年度	789	1,194	1,983
R2 年度	762	1,167	1,929
比 較	27	27	54

(助成金額)

[親] (道補助対象分) (市単独分)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	66	2,298	9,863	21,415	9,929	23,713
R2 年度	69	2,794	9,620	21,913	9,689	24,707
比 較	△ 3	△ 496	243	△ 498	240	△ 994

[子] (道補助対象分) (市一部負担分含む)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	45	1,716	10,511	18,025	10,556	19,741
R2 年度	38	979	9,473	15,735	9,511	16,714
比 較	7	737	1,038	2,290	1,045	3,027

[合計]

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3 年度	111	4,014	20,374	39,440	20,485	43,454
R2 年度	107	3,773	19,093	37,648	19,200	41,421
比 較	4	241	1,281	1,792	1,285	2,033

●国民健康保険・後期高齢者医療の状況

・国民健康保険

(加入状況)

区 分	世 帯 数		被 保 険 者 数	
	年平均	対市全世帯%	年平均	対市全人口%
R3 年度	8,310	24.04	12,447	17.77
R2 年度	8,321	24.30	12,542	17.92
比 較	△11	△0.27	△95	△0.15

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R3 年度	6,663,443	6,531,489	131,954
R2 年度	6,498,435	6,506,773	△ 8,338
比 較	165,008	24,716	140,292
増加率%	2.54	0.38	

## (診療費の状況)

区 分	件 数	受診率%	費 用 額		
			金額 (千円)	1 件当り (円)	1 人当り (円)
R3 年度	129,102	1,038.72	4,250,459	32,923	341,979
R2 年度	124,088	989.70	4,059,891	32,718	323,807
比 較	5,014	49.02	190,568	205	18,172
増加率%	4.04		4.69	0.63	5.61

## ・後期高齢者医療

## (加入状況)

区 分	被 保 険 者 数	
	年平均	対市全人口%
R3 年度	9,813	14.00
R2 年度	9,654	13.78
比 較	159	0.22

## (収支状況)

区分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R3 年度	1,057,640	1,039,441	18,199
R2 年度	1,039,400	1,018,897	20,503
比 較	18,241	20,544	2,304
増加率%	1.8	2.0	

## 基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

### 目標10 いきいきと働きやすいまち

地理的優位性等の強みを活かし、社会情勢や市民ニーズ(職種や就業形態)を踏まえた企業誘致を推進するとともに、「労働者が安心して就業し、働き続けることができる環境の整備」や「後継者を含む人材の育成を目的とした各種支援」等を実施しました。

#### ●企業誘致環境の整備

民間が所有する工業団地内の未操業地について、仲介・斡旋を継続的に行うことなどの誘致活動を進めた結果、3社(新規立地3社)の立地が決定しました。

#### ●多様な人材を活かせる労働環境の整備

##### ・就職促進事業 (P.123)

4,000千円

求職者の就職支援を目的とした合同企業説明会を実施しました。また、企業採用担当者向けセミナー、採用に関するコンサルタント業務を実施し、市内企業の人手不足に対する支援を行いました。

##### 1. 就職促進事業

(1) 合同企業就職説明会(パート・アルバイト向け) 令和3年10月25日

参加者52名 参加企業10社

(2) WEB合同企業就職説明会(正社員向け) 令和3年10月28日

参加者24名 参加企業5社

上記(1)、(2)による就職決定者24名

##### 2. 採用力向上支援事業

(1) 企業採用担当者向けセミナー 令和3年10月19日

受講企業13社

(2) 採用に関するコンサルタント業務

実施企業10社

##### 3. 企業情報発信事業

(1) 冊子の作成及び広報媒体による周知

掲載企業10社、1,500部作成、求人雑誌・情報発信WEBサイトへの掲載

##### ・求職・労働相談 (P.123)

661千円

雇用安定対策として、国・道及び関係機関の実施する職業安定事業と連携を密にしながら、地域職業相談室を運営することで求人情報の把握や市民に対する求人情報の発信、求職活動の利便性向上を図りました。

また、季節労働者の冬期間の生活安定を図ることを目的として通年雇用促進支援事業を実施しました。

#### 地域職業相談室

年 度	ジョブガイド恵庭(ミニハローワーク)				恵庭市相談室	
	相談件数	新規求職者数	企業紹介件数	就職決定者数	窓口相談	電話相談
R3年度	4,229	712	1,091	317	16	7
R2年度	4,054	674	1,098	329	57	14
比 較	175	38	△7	△12	△41	△7

通年雇用促進支援事業の状況

事業名	受講者等		通年雇用化勤務決定者	
	計画	実績	計画	実績
①事業所向け労務管理講習事業	40社	31社	4人	1人
②事業所向け経営支援講習事業	60社	79社	4人	5人
③人材確保育成助成金制度普及啓発事業	415社	319社	11人	14人
④求人企業情報提供事業（企業ガイドブックWeb版掲載）	875社	716社	8人	11人
⑤事業所向け調査研究事業	850社	883社	—	—
⑥事業所向けZOOM活用講習業務委託事業	20社	8社	2人	1人
⑦事業所向けドローン関連業務委託事業	39社	34社	3人	2人
⑧通年雇用化支援講習業務委託事業	25人	23人	1人	1人
⑨建設技能資格取得業務委託事業	22人	16人	3人	4人
⑩施設管理技能資格取得業務委託事業	6人	5人	1人	0人
⑪介護関連資格取得業務委託事業	6人	1人	1人	0人
⑫季節労働者向け建設施工管理技士講習事業	10人	0人	2人	0人
⑬季節労働者向けドローン関連業務委託事業	16人	11人	2人	1人
⑭商業・サービス業技能講習事業	30人	19人	2人	1人
⑮合同企業就職説明会事業	20人	14人	2人	0人
⑯季節労働者実態調査事業	950人	812人	—	—
⑰季節労働者資格取得支援事業	5人	5人	1人	1人
⑱登録季節労働者情報提供事業	1,250人	1,495人	1人	4人
⑲建設業安全衛生・特別教育業務委託事業	6人	10人	1人	0人
⑳季節労働者相談事業	50人	69人	1人	0人
合 計	4,695件	4,550件	50人	46人
目標達成率	96.9%		92.0%	

・シルバー人材センター事業支援（P.123）

12,129千円

高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図り、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会を目指し、恵庭市シルバー人材センターへ支援を行いました。

シルバー人材センターの事業状況

年 度	公共事業（恵庭市分）		そ の 他		合 計	
	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)
R3年度	343	105,838	2,931	153,443	3,274	259,281
R2年度	316	110,440	2,633	153,007	2,949	263,447
比 較	27	△4,602	298	436	325	△4,166

## 目標 1 1 恵まれた土地を生かした農林業

農地・農業用排水施設の整備や水利施設の保全管理の推進、農業の多様な担い手の育成により、経営基盤の強化を図り、農畜産物の生産体制の継続と発展に努めました。

### ●生産基盤整備の充実

農地の効率的な利用と経営規模拡大を図り、土地基盤整備や排水路および関連施設の適切な維持管理を行い、地域共同の取組による環境保全に向けた先進的な営農活動を支援しました。

- ・排水路管理事業 (P. 127) 4, 362千円  
排水路雪割、維持補修工事
- ・排水路改修事業 (P. 127) 5, 192千円  
排水路改修工事 (基線、西1線幹線、西2線幹線)
- ・内水排除施設管理事業 (P. 127~128) 28, 887千円  
排水機場管理事業 (北島、西4線、中島松、漁太、漁太川排水機場)  
釜加地区内水排水機場管理負担金 (南21号・南18号排水機場)
- ・国営かんがい排水事業 (P. 128) 158, 549千円  
国営土地改良事業地元負担金 (道央地区、北島地区)
- ・多面的機能支払交付金事業 (P. 128~129) 103, 983千円  
農地維持支払交付金及び資源向上維持支払交付金
- ・道営農地整備 (経営体育成型) 事業 (P. 129) 12, 837千円  
農地整備事業 (左岸島松)
- ・国営造成施設 (揚水機場) 管理事業費 (P. 129) 34, 151千円  
揚水機場管理事業 (千歳川第1・第2揚水機場)

### ●経営の強化と担い手の育成・確保

関係機関と連携し技術研究や経営支援を行い、農業経営の改善と安定を進めました。

また、経営管理能力の向上などの体質強化を図るとともに、新規就農や女性の経営参画を推進しました。

- ・農業後継者対策費 (P. 125) 8, 250千円
  - ・農業研修派遣事業 コロナ禍の影響により中止
  - ・農業後継者育成事業 申請者なし
  - ・農業次世代投資資金 (経営開始型) 事業 実績5件 (個人4名、夫婦1組)
- ・農業者支援資金利子補給事業 (P. 125) 423千円  
スーパーL資金、農業経営緊急支援資金に係る利子補給
- ・農業振興対策事業 (P. 125~126) 85, 088千円  
簡易耕土改良施工用作業機械借り上げ (2件 事業面積413a)、ジャガイモシストセンチュウ対策 (9件 作付面積2,430a)、米麦改良協会補助事業、経営所得安定対策推進事業、強い農業づくり事業 (3件)、外国人技能実習生受入サポート事業 (1件)、水田麦・大豆産地生産性向上事業 (3件)

- ・環境保全型農業直接支払交付金事業 (P. 126) 4, 383千円  
環境保全型農業への取り組み支援 (11件 対象面積 7,598a)
- ・畜産振興事業費 (P. 126) 2, 341千円  
酪農経営改善事業 (12件)、家畜自衛防疫事業 (26件、消毒回数6回)  
酪農ヘルパー推進事業 (12件)
- ・市営牧場管理事業 (P. 126~127) 17, 804千円  
酪農事業の発展におよび飼料基盤確保のため、若牛の集団育成を実施  
(運営期間: 5月19~10月21日 平均受入頭数: 193頭)

## ●農工商等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進

- ・恵庭市農工商等連携推進ネットワーク (P. 131)  
市内の企業・団体が参画して設立した「恵庭市農工商等連携推進ネットワーク」の活動に加え、友好都市協定を結んだ藤枝市と設立した連携推進ネットワークにより、それぞれの特徴を生かした産業振興や農畜産物の販路開拓に取り組みました。  
会員数 107会員
  - (1) 交流促進事業  
定期総会・交流会 (書面開催) 令和3年 7月20日 回答数52人
  - (2) 販路拡大事業  
北海道産取引商談会 (福岡会場) 出展者1社  
北海道産取引商談会 (札幌会場) コロナ禍の影響により中止
  - (3) 情報発信事業  
ホームページでの情報発信2回、メールニュース33回  
Enimarche (エニマルシェ) フェアの開催 令和4年3月10日~3月27日  
令和3年10月1日に新たなアンテナショップ機能としてリニューアルオープンした  
Enimarcheで販売する会員商品の広告を作成・配布するとともに、インスタグラムを利用した「Enimarcheフェア」を開催し、会員商品のPR及び認知度向上を図りました。  
フェア参加事業者 11社
  - (4) 新商品開発支援事業  
新商品数18品 (市内連携商品16品、藤枝市内連携商品2品)
  - (5) 藤枝市との連携事業  
ネットショップ藤の恵の運営 販売実績 販売商品190商品 (うち恵庭市63商品)  
事業者間の交流 (産業祭の出席)  
コロナ禍の影響により両市で開催する産業祭は中止  
アンテナショップにおける販売  
藤枝市観光案内所にて「友好・交流都市フェア in ふじえだ」を開催し、ネットワーク会員の商品販売を行いました。  
開催期間 令和4年1月28日~2月28日 出品商品 4商品  
商品開発補助金  
補助金交付件数 1社、開発商品数 18商品  
藤枝市・恵庭市広域ネットワーク試作支援事業  
両市で生産された農畜産資源を活用した新商品創出に向けた研究、開発等に取り組む事業者に対し、試作用の材料費及び送料を支援し、商品開発の促進を図りました。  
利用事業者 2社
- ・えにわん産業祭  
コロナ禍の影響により中止

## 目標 1 2 暮らしを支える商業

地域に根ざした魅力ある商店街づくりを行うため、商工関係団体との連携による地元消費の喚起や地域の特性を生かすとともに、中小企業・小規模事業者の経営課題や新たな事業展開に対し、関係機関と連携し相談、助言を行うなど、支援体制を構築し、市内商業の活性化に努めました。

### ●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援

#### ・商店街活性化振興事業 (P. 131)

1, 034千円

消費者の市外流出に歯止めをかけ、高齢化社会に対応した商業形成を図るため、市内商店街・商店会が連携するとともに、地域住民の協力や理解を得るなど、地域に根ざした魅力ある商店街・商店会づくりに努めました。

商店街活力再生促進事業補助金

- ・恵み野商店会：キャンドルナイト事業
- ・恵み野やすらぎストリート：やすらぎストリートであ・そ・ぼ！！事業
- ・花さんぽストリート：恵み野花さんぽストリートにぎわい創出環境整備事業
- ・恵庭駅通商店街振興組合：駅まちプラザ内にフリーWi-Fiを設置するにぎわい創出事業

#### ・起業家支援事業 (P. 130)

8, 301千円

市内で新たに出店する事業者に対する新規出店支援補助金の交付、起業する際の様々な疑問や悩みを解消し事業を成功に導くノウハウを学ぶためのセミナーや専門家による個別相談会を開催しました。

### ●市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進

#### ・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業

市民や各団体が垣根を越えて協力し、多くの人々が楽しく、幸せになる恵庭らしいマルシェを開催することにより、まちの活性化、市内経済の振興を図りました。

- ・えにわマルシェ コロナ禍の影響により中止
- ・プチマルシェ

##### ①会場：道と川の駅「花ロードえにわ」

開催日：令和3年4月24日～10月31日までのうち62日間 出店数：延76店

##### ②会場：フレスポ恵み野

開催日：令和3年10月24日～令和4年2月27日までのうち4日間 出店数：延13店

##### ③会場：札幌駅前通地下広場 コロナ禍の影響により中止

## 目標 13 来てみたいまち 住んでみたいまち

来てみたいまち住んでみたいまちをめざし、観光による来訪はもとより、花のまちや恵庭溪谷など魅力ある観光資源の情報発信の強化と新たなブランド戦略や、シティプロモーションの充実に努めました。また、地元産品や豊かな自然など恵庭市の魅力発信を強化し、ふるさと納税制度の推進に取り組みました。

### ●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出

恵庭市の観光資源である「恵庭溪谷」「花のまち」を活かした観光の取組みを推進するため、情報誌及び観光 WEB サイトにおいて情報発信を行いました。

また、観光PRの強化や拠点の充実、新たな観光資源の創出に重点を置いて観光振興を図りました。

- ・ 恵庭市観光推進協議会の開催 協議会 1 回開催
- ・ オープンガーデンイベント「恵みの庭めぐり」 コロナ禍の影響により中止
- ・ 恵庭市HP「花と観光」 閲覧数 149,163件（前年度比117.0%）
- ・ 恵庭市公式観光WEBサイト「ENIWA EYE」 閲覧数 79,794件（前年度比122.7%）
- ・ はなふる専用サイト 閲覧数 207,136件
- ・ さっぽろビアガーデンふるさとPRステージ コロナ禍の影響により中止
- ・ 観光ガイドブック「旅するえにわ」の改訂・増刷
- ・ 花の拠点関連ガイドブックの作成

#### ・ 恵庭花のまちづくり推進会議事業 (P.133)

平成30年に策定した新・花のまちづくりプランでは「美しいまちで暮らそう」を目標としました。「美しい環境がある」「美しい人々がいる」の2つのテーマのもと市民、行政、団体、企業が協働により花と緑を生かした環境を作り取り組みました。

- (1) 花とくらし展 コロナ禍の影響により中止
- (2) 花マップの製作 12,000部（市内JR各駅、花ロードえにわ外にて配布）
- (3) YouTube 動画作成、はなふるPR動画編集

#### ・ 台湾経済交流推進事業 (P.131)

1,212千円

令和3年度は、コロナ禍の影響により人の往来が制限されており、当初予定していた一部事業が実施できませんでしたが、ホームページの掲載内容の充実やWEB広告を実施しました。

また、令和4年1月に台湾の大学66校が加盟する「中華民国私立科学技術大学校院協進会（APUCT）」と協力覚書を締結し、恵庭市と台湾との教育推進及び経済や文化・教育・スポーツなど様々な交流について、さらなる発展に繋げていくこととしました。

- ・ 「ENIWA EYE」の運営 情報発信：12回、SNS広告を実施

#### ・ 恵庭ふるさと公園再整備事業 (P.141)

55千円

P-PFI制度を活用した、賑わい拠点創出を図るため、実施事業者の選定を行いました。

※事業実施は令和4年度

#### ・ 花の拠点整備事業 (P.134)

90,479千円

- ・ 道と川の駅屋根改修、外構工事
- ・ 花の拠点センターハウス非常用発電設備更新、壁面緑化・インフォメーションボード設置
- ・ ガーデンエリア植栽・照明設置、散水設備更新、サイン整備
- ・ 道と川の駅外構・サイン整備
- ・ 農畜産物直売所入口ドア増設工事



・花の拠点運営事業 (P. 133~134)

151,882千円

コロナ禍の影響により制限がある中での取り組みとなりましたが、民間事業者と協働で、「花の拠点来訪者の満足度向上、観光客の一層の誘客」に向け各種イベントを開催しました。

- ・各施設入込数 花ロードえにわ 778,900人  
農畜産物直売所 356,817人  
センターハウス 117,888人
- ・イベント実績 はなふるスカイランタンまつり 182組364人  
こどもの遊び場親子イベント 404人  
はなふるでいず 216人  
はなふるスノーフェスタ2022 コロナ禍の影響により中止

花の拠点運営関連歳入決算

(単位:円)

歳入科目	決算額
土地使用料(道と川の駅)	19,598
自動販売機使用料(道と川の駅)	4,673,407
自動販売機使用料(花の拠点センターハウス)	395,588
公園使用料(道と川の駅)	15,745,546
公園使用料(農産物直売所)	22,000,000
公園使用料(花の拠点センターハウス)	6,664,729
公園使用料(宿泊施設)	2,991,119
公園使用料(ガーデンエリア)	593,030
公園使用料(多目的交流物産館)	2,127,301
公園使用料(暮らしを恵む庭)	89,500
土地建物貸付収入	232,074
電話等使用収入	13,910
シェアサイクル使用料	113,467
はなふる物販等収入	83,500
合計	55,742,769

・シェアサイクル運営事業

恵庭駅、恵み野駅及び「はなふる」の3か所にシェアサイクルポートを設置し、オープンガーデンや市内観光施設、飲食店等への周遊促進を図りました。

利用実績: 286人

(居住地内訳): 市内112人/道内103人/道外52人/不明19人

(プラン内訳): 1時間75人/4時間202人/24時間2人/その他7人

・第39回全国都市緑化北海道フェア事業 (P. 141~142)

227,628千円

令和4年度開催決定となった「ガーデンフェスタ北海道2022」は、花の拠点「はなふる」をメイン会場として、開催に向けた準備を進めてきました。

各種事前イベントの開催やメディア等を通じた広報活動の他、市内外に対して周知活動を行い、本フェアが恵庭市をメイン会場として開催されることを全国に発信してきました。

- ・実行委員会の開催(2回)
- ・サポーターズクラブ各分科会の開催(広報、景観、イベントなど計24回)
- ・北海道文教大学附属高等学校と市内飲食店との限定コラボメニューの開発
- ・ハンギングバスケット、コンテナガーデン作品の募集
- ・市民参加ステージ、ブース出展、会場ボランティアの募集
- ・たねダンゴ花壇・たねダンゴ教室の実施(R3.10.18~30)

市内幼稚園・保育園児約600名によるたねダンゴ花壇の植付(R3.10.18~29)と一般市民を対象としたたねダンゴ教室(R3.10.30)を実施

・プレイベントの実施

・開催1年前イベント (R3. 6. 26)

フラワーアンバサダー委嘱状交付 坂本 星美さん (恵庭市出身)

ガーデンフェスタバージョンキュンちゃんお披露目

上記最優秀デザイン賞表彰

・ガーデンフェスタ北海道 2022 音楽祭 (R3. 11. 20)

陸上自衛隊北部方面音楽隊、北海道文教大学・文教大学附属高校混成チームによる演奏

・テーマソング完成披露会 (R3. 12. 14)

制作者 半崎 美子 さん (北海道出身) によるミニライブ

半崎美子さん×恵庭市原田市長ミニトークショー

・招待状交換セレモニー (R4. 3. 25)

北海道知事と熊本市長による招待状交換

北海道鈴木知事、恵庭市原田市長、キュンちゃんガーデンフェスタバージョン (北海道観光PRキャラクター)

第38回全国都市緑化くまもとフェア実行委員会大西委員長 (熊本市長)

※大西委員長はビデオメッセージにて参加

くまモン (第38回全国都市緑化くまもとフェアくまもと花博イメージキャラクター)

・ふるさと納税推進事業 (P. 63)

1, 006, 720千円

民間のふるさと納税サイトを新たに3サイト追加し、令和4年3月末現在12サイトで寄附を募りました。返礼品の充実に努めるとともに、他自治体と同一の返礼品について、寄付金額を同等に設定をしたことなどにより寄附が拡大し、恵庭の情報発信や地元製品の消費促進に繋がりました。

令和3年度ふるさと納税 87, 801件 寄附総額 1, 824, 709千円

※ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄附

●移住・定住の促進

・移住促進事業 (P. 63~64)

5, 162千円

・恵庭市移住・定住支援サイトへのアクセス件数：51, 718件

・移住イベントへのブース出展：合計相談者30組

・オーダーメイドツアー参加者数：3組

・オンライン移住相談参加者数：4組

・恵庭U I J ターン新規就業支援事業補助金：1件

・西島松地区土地利用推進事業 (P. 65)

31, 725千円

全体面積約2.2haに宅地70区画を造成しました。周辺道路整備を行い、開発区域から市道島松大通に接続する市道新設工事を発注しました。接続道路は令和4年7月完成を予定しています。

また、造成地域を含む区域について、島松寿町1丁目に編入する町名変更を実施しました。

●都市間交流の促進 (P. 71)

6千円

・姉妹都市和木町との交流事業

副町長就任挨拶に伴う来恵

「恵庭花とくらし展」、「わき愛あいフェスティバル」の交流事業はコロナ禍の影響により中止。

・友好都市藤枝市との交流事業

例年「ふじえだ産業祭」へ出展事業していたが、コロナ禍の影響により開催中止。

・姉妹都市等交流促進事業補助金

コロナ禍の影響により補助金交付実績なし。

## 基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち

### 目標 1 4 地域で育む子育て環境

子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めました。

#### ●子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討

子育てについての相談・指導などの各種支援に努め、児童が健やかに育つ環境づくりのために、子育て支援センター事業や子どもひろば事業、学童クラブ事業等を実施し、地域における子育て支援機能の充実を図りました。また、児童手当、児童扶養手当等の各種手当を支給し、家庭の生活の安定を図りました。

#### ・学童クラブ事業 (P. 103)

193, 144千円

放課後の時間帯における児童の健全な育成を図るため学童クラブを運営しており、令和3年度は若草小学校区、島松小学校区に増設し、また、松恵子どもクラブの機能を学童クラブと子どもひろばに分けたことにより、3か所増の全20か所で事業を実施しました。令和3年度は18箇所を民間委託により実施しました。また、学童クラブ支援員のキャリアに応じた処遇改善補助金を交付し、待遇改善を図りました。

#### ・学童クラブ受入状況 (月平均)

区 分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	障害児	合計
R3年度	217	209	118	83	34	16	13	690
R2年度	219	157	136	64	22	6	10	614
比 較	△2	52	△18	19	12	10	3	76

#### ・学童クラブ在籍状況 (年度末)

	児童数		児童数		児童数		児童数
恵庭	40	和光	49	若草	30	恵み野	33
恵庭第2	42	和光第2	46	若草第2	28	恵み野第2	30
恵庭第3	24	和光第3	39	若草第3	19	恵み野旭	23
柏	45	島松	28	若草第4	18	恵み野旭第2	26
柏第2	32	島松第2	23	松恵	34	恵み野旭第3	20

#### ・学童クラブ施設整備事業 (P. 103)

3, 432千円

児童の安全・安心な居場所づくりと、支援員の労働環境を改善するためにエアコンを設置しました。

#### ・子育て支援センター事業の充実 (相談件数・利用者数) (P. 100~102)

相 談 項 目	件数	年齢等	利用者数
しつけ (基本的生活習慣)	181	保護者	8,908
発達 (言語、情緒、身体)	115	0歳	2,447
子どもの対人関係	23	1歳	3,509
親子・家庭関係	65	2歳	2,914
問合せ	443	3歳以上	2,104
合 計	827	合 計	19,882

※相談件数・利用者数は、柏陽・恵み野・島松・黄金、柏、恵庭の各支援センターの合計

・子どもひろば利用状況 (P. 102~105)

区 分		就学前児童	小学生	中学生	高校生	その他	合計
R3 年度	恵庭子どもひろば	454	4,910	88	16	165	5,633
	黄金子どもひろば	219	6,279	312	8	2	6,820
	島松子どもひろば	141	2,440	119	146	14	2,860
	恵み野子どもひろば	659	2,177	78	208	1,161	4,283
	若草っこひろば	-	457	-	-	-	457
	柏子どもひろば	237	1,910	249	29	43	2,468
	松恵子どもひろば	-	291	-	-	-	291
	計						22,812
R2 年度	恵庭子どもひろば	354	6,771	110	2	386	7,623
	黄金子どもひろば	135	6,803	296	11	184	7,429
	島松子どもひろば	223	2,799	716	51	298	4,087
	恵み野子どもひろば	600	941	306	-	1,174	3,021
	若草っこひろば	-	881	-	-	-	881
	柏子どもひろば	146	2,364	391	24	214	3,139
	松恵子どもひろば	-	-	-	-	-	-
	計						26,180
比較	恵庭こどもひろば	100	△1,861	△22	14	△221	△1,990
	黄金子どもひろば	84	△524	16	△3	△182	△609
	島松子どもひろば	△82	△359	△597	95	△284	△1,227
	恵み野子どもひろば	59	1,236	△228	208	△13	1,262
	若草っこひろば	-	△424	-	-	-	△424
	柏子どもひろば	91	△454	△142	5	△171	△671
	松恵子どもひろば	-	291	-	-	-	291
	合 計						△3,659

・ファミリーサポートセンター会員数/援助活動件数 (P. 103~104)

【基本の預かり】

- ・依頼会員 713人
- ・協力会員 123人
- ・両方会員 59人
- 合 計 895人

援 助 内 容	件数
保育所・幼稚園への送迎、預かり等	208
学童保育の送迎、預かり等	13
保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	228
保護者等の短時間・臨時就労等による預かり等	140
子どもの病気、習い事等の場合の援助	387
その他	3
合 計	979

【病児・病後児預かり】

- ・協力会員 25人

援 助 内 容	件数
病児・病後児の預かり	6
宿泊を伴う預かり	0
送迎	1
(うち、医療機関の代理受診)	0
その他	0
合 計	7

・児童手当 (P. 96~97)

(単位：人/千円)

区分		第1子		第2子		第3子以降		合計	
		総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額
R3年度	3歳未満	5,633	84,495	3,974	59,610	1,897	28,455	11,504	172,560
	3歳以上	22,519	225,190	16,171	161,710	6,285	94,275	44,975	481,175
	中学生	10,032	100,320	5,308	53,080	575	5,750	15,915	159,150
	特例給付	1,219	6,095	1,054	5,270	446	2,230	2,719	13,595
	小計	39,403	416,100	26,507	279,670	9,203	130,710	75,113	826,480
R2年度	3歳未満	5,527	82,905	4,096	61,440	2,065	30,975	11,688	175,320
	3歳以上	22,677	226,770	16,444	164,440	6,321	94,815	45,442	486,025
	中学生	9,647	96,470	5,491	54,910	610	6,100	15,748	157,480
	特例給付	1,297	6,485	1,100	5,500	540	2,700	2,937	14,685
	小計	39,148	412,630	27,131	286,290	9,536	134,590	75,815	833,510
比較		255	3,470	△ 624	△ 6,620	△ 333	△ 3,880	△ 702	△ 7,030

※3歳未満・3歳以上小学校修了前(第3子)は月額15,000円

※3歳以上小学校修了前(第1・第2子)・中学生は月額10,000円

・児童扶養手当 (P. 96~97)

区分	全部支給	一部支給	全額支給停止	合計(人)	金額(千円)
R3年度	349	269	107	725	320,576
R2年度	356	249	97	702	322,604
比較	△7	20	10	23	△2,028

・遺児手当 (P. 97)

区分	就学児(15,000円/年)		未就学児(12,000円/年)		合計	
	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)
R3年度	21	291	3	17	24	308
R2年度	24	349	1	12	25	361
比較	△3	△58	△2	5	△1	△53

・施設入所面会旅費助成事業

区分	申請世帯	金額(千円)
R3年度	0	0
R2年度	0	0
比較	0	0

・入院助産措置状況 (P. 96)

区分	措置人員	金額(千円)
R3年度	2	1,352
R2年度	1	778
比較	0	574

・子育て支援短期利用事業・夜間養護等事業

区分	短期利用事業			夜間養護等事業		
	児童数	日数(日)	金額(千円)	児童数	日数(日)	金額(千円)
R3年度	0	0	0	0	0	0
R2年度	2	4	11	0	0	0
比較	△2	△4	△11	0	0	0

・子ども相談事業の推進

家庭児童相談員 2名

・家庭児童相談受付件数

(実件数)

項目	養育相談		保健相談	障がい相談						非行相談	
	児童虐待	その他		肢体不自由	視聴覚障がい	言語発達障がい等	重症心身障がい	知的障がい	発達障がい	ぐ犯行為等	触法行為等
R3年度	139	56	2	2	1	0	0	48	4	3	0
R2年度	139	21	0	1	0	1	4	67	6	0	0
比較	0	35	2	1	1	△1	△4	△19	△2	3	0

項目	育成相談				その他の相談	合計
	性 格 行 動	不 登 校	適 性	し っ け 育 児 ・		
R3年度	15	17	1	4	90	382
R2年度	7	8	6	18	49	327
比較	8	9	△5	△14	41	55

・児童虐待の防止と体制の強化

恵庭市要保護児童ネットワーク協議会

代表者会議1回 実務者会議2回 個別ケース検討会議21回 講演会1回

・ひとり親家庭相談の実施

母子父子自立相談員相談指導件数

項目	生活一般							児童					
	住 宅	医 療 ・ 健 康	家 庭 紛 争	就 労	結 婚	養 育 費	借 金	そ の 他	養 育	教 育	非 行	就 職	そ の 他
R3年度	0	26	55	95	16	4	1	404	77	26	3	0	12
R2年度	0	11	49	127	15	8	2	291	61	27	0	0	23
比較	0	15	6	△32	1	△4	△1	113	16	△1	3	0	△11

項目	経済的支援・生活援助							その他					合計
	母 子 福 祉 資 金	寡 婦 福 祉 資 金	公 的 年 金	児 童 扶 養 手 当	生 活 保 護	税	そ の 他	売 店 設 置	た ば こ 販 売	公 営 住 宅	母 子 家 庭 向 の 利 用	母 子 福 祉 施 設 支 援 施 設	
R3年度	226	16	3	363	8	8	137	0	0	0	0	0	1,480
R2年度	253	9	2	419	7	8	161	0	0	0	0	0	1,473
比較	△27	7	1	△56	1	0	△24	0	0	0	0	0	7

・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 (P. 97)

区 分	パソコン講座	ホームヘルパー	医療事務	介護技術	その他	合計
R3 年度	0	0	0	0	2	2
R2 年度	0	0	0	0	2	2
比 較	0	0	0	0	0	0

・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付事業 (P. 97)

区 分	理学療法士	作業療法士	保育士	准看護師	看護師	その他	合計	修了支援給付金※
R3 年度	0	0	2	0	1	1	4	2
R2 年度	0	0	3	0	1	2	6	2
比 較	0	0	△1	0	0	△1	△2	0

※養成課程が修了後 1 回支給

・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

区 分	利用者数	金額 (千円)
R3 年度	0	0
R2 年度	0	0

・ひとり親家庭等日常生活支援事業 (P. 97)

区 分	利用者数	利用回数	利用時間	金額 (千円)
R3 年度	1	1	2	4
R2 年度	0	0	0	0
比 較	1	1	2	4

・恵庭市子どもの生活・学習支援事業実施状況 (P. 97)

区 分		恵庭地区	柏地区	若草地区	恵み野地区	合計
R3 年度	延利用者数(人)	222	446	413	235	1,316
	開設日数(日)	44	44	136	45	269
R2 年度	延利用者数(人)	337	395	431	320	1,483
	開設日数(日)	48	49	111	46	254
比 較	延利用者数(人)	△ 115	51	△ 18	△ 85	△ 167
	開設日数(日)	△ 4	△ 5	25	△ 1	15

●学童クラブ及び保育園、認定こども園における待機児童の解消

延長保育事業や休日保育事業、一時保育事業等を実施し、仕事と育児を両立させ、安心して働ける環境を整備するなど、保育サービスの向上に努めました。また、学童クラブの待機児童解消のため、若草小学校区、島松小学校区に新たな学童クラブを開設しました。

・ 保育所等入所児童数（2号・3号認定こども）

（令和4年3月31日現在）

区 分	年 齢 別 の 入 所 児 童 数							定員	入所率%
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
すみれ保育園	6	10	16	13	15	17	77	90	85.6%
島松いちい保育園	15	15	18	17	20	22	107	90	118.9%
恵み野幼稚園・保育園	8	15	15	16	16	14	84	86	97.7%
ひまわり幼稚園・保育園	8	15	15	13	8	6	65	79	82.3%
さくら	12	14	15	13	18	12	84	75	112.0%
えほんの森	8	15	15	11	14	15	78	75	104.0%
幼稚舎えるむ	9	16	14	4	12	14	69	69	100.0%
えにわスマイル保育園	9	12	12	11	9	7	60	60	100.0%
かしわ幼稚園・保育園	6	14	11	13	10	13	67	86	77.9%
あいおい子ども園	12	19	14	16	16	16	93	90	103.3%
恵庭幼稚園	0	0	0	23	22	11	56	30	186.7%
クラーク幼稚園	0	0	0	10	8	6	24	20	120.0%
島松幼稚園	0	0	0	7	4	5	16	10	160.0%
北海道文教大学附属幼稚園	11	14	13	17	18	15	88	90	97.8%
恵庭保育園	0	7	11	0	0	0	18	18	100.0%
しままつスマイル保育園	6	7	6	0	0	0	19	19	100.0%
島松もみじ保育園	7	6	8	0	0	0	21	19	110.5%
合 計	117	179	183	184	190	173	1,026	1,006	102.0%
うち、他市町村からの広域受入	3	0	0	1	1	2	7		
他市町村への広域入所	1	2	1	0	0	1	5		

・ 多子世帯保育料軽減支援事業(保育料一部無償化)

対象 3歳未満児（第2子以降）

区 分	実人数	延人数
R3年度	202	1,983
R2年度	206	1,918

・ 休日保育事業

定 員 : 10名程度

開設時間 : 8時～18時

区 分	実人員	延人員	利用日数
あいおい子ども園	12	224	66



・延長保育事業

保育時間 18時15分～19時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すみれ保育園	32	408	246
島松いちい保育園	61	1,383	258
恵み野幼稚園・保育園	32	305	167
ひまわり幼稚園・保育園	31	724	246
さくら	30	644	242
えほんの森	40	884	248
幼稚舎えるむ	28	585	190
えにわスマイル保育園	27	286	114
かしわ幼稚園・保育園	35	196	81
あいおい子ども園	42	943	259
北海道文教大学附属幼稚園	41	291	141
しままつスマイル保育園	11	218	195
合 計	410	6,867	2,387

※短時間認定の時間外含む

・一時保育事業

対象児：1歳～就学前児

定 員：8名程度/日

保育時間：7時15分～18時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すみれ保育園	39	615	233
島松いちい保育園	18	188	125
あいおい子ども園	55	1,107	274
えほんの森	23	241	152
合 計	135	2,151	784

●学童クラブ支援員及び保育士等の人材確保と質の向上

・保育士就労支援事業(P.106)

1,970千円

交付対象事業者 9法人13施設

交付対象保育士 44名

●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進

少子高齢化、地域の関係性の希薄化など、家族のあり方や地域社会の結びつきが変化し、様々な年代との関わりを体験することなく子どもや若者が育つ時代の中、人間関係構築のために大切なコミュニケーション力を形成するため、家庭や学校、地域などで、子どもと保護者等が交流し思いやりの心や良好な人間関係を育むことができるよう各事業の推進に努めました。

・えにわ赤ちゃん登校日 コロナ禍の影響により中止

・児童生徒 ヒューマン・コミュニケーション授業

実施回数：若草小学校 延8回、柏陽中学校 延12回

対 象：若草小学校5年生、6年生 192名、柏陽中学校1年生、2年生 192名

・教職員等 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施回数：1回

対 象：市内小中学校教職員等 15名

## 目標 15 心豊かな思いやりをもった子どもの育成

心豊かな子どもの育成のため、地域住民や市民団体等を主体として、生活体験や自然体験、社会体験の機会の充実や、地域活動機会の充実、読書習慣の形成等による青少年の育成を図るとともに、指導者の育成や指導者間の連携充実を図りました。

### ●体験型事業の推進

市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうるおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めました。

#### ・宿泊体験事業又は日帰り体験事業

コロナ禍の影響により中止

#### ・恵庭子ども塾 (P. 166)

事業分類	延事業回数	延実施日数	延参加人数	内 容
ものづくり・実験教室	0	0	0人	コロナ禍の影響により中止
宿泊型体験教室	0	0	0人	コロナ禍の影響により中止
体験学習	1	1	12人	食の体験ランド
合 計	1	1	12人	

#### ・青少年宿泊研修施設利用状況 (P. 166)

利 用 者：市内児童、生徒、高校生及び保護者等並びに交流目的の市外児童、生徒及び高校生  
 利用人数：76人（前年度研修センター利用人数 54人）

#### ・青少年育成事業

少年の主張中学校大会	参加校5校（各校1人、ビデオ審査）
えにわっ子フェアセミナー	コロナ禍の影響により中止
青 少 年 表 彰	青少年善行賞1人、青少年団体活動者賞（団体）1団体
青少年育成事業補助金	スウェーデンルシアを迎える会（中止） 夏休み子ども放送局 夢道教室 2021

#### ・恵庭市新成人のつどい (P. 165)

コロナ禍の影響により開催を延期していた令和2年度新成人のつどい、令和3年度新成人のつどいを実施しました。

##### ・令和2年度延期分新成人のつどい

開催日：令和3年12月26日

参加者数：349人（男性176人、女性173人）

##### ・令和3年度新成人のつどい

開催日：令和4年1月9日

参加者数：482人（男性252人、女性230人）

## ●読書活動による子どもの育成

ブックスタートで本と出会った乳児が成長するにしたい、幼稚園や小中学校などの読書活動を通して豊かな心や自ら学ぶ力を育てながら読書習慣を形成するため、総合的・体系的に読書環境を整備し、児童生徒の読書意欲の高まりや自主的な調べる力の習得などの推進を図りました。

### ・ブックスタート事業 (P.170～171)

ブックスタートパックを9～10か月児健診を受診する親子に配布

・対象乳児：450人、配布パック数：425個

### ・ブックスタートプラス事業 (P.170～171)

絵本とガイドブックを1歳6か月児健診を受診する親子に配布

・対象乳児：456人、配布パック数：412個

### ・私立幼稚園等図書環境整備支援 (P.170～171)

・私立幼稚園及び認可外保育施設 17施設 456千円

### ・読み聞かせ活動の推進 (P.170～171)

(おはなし広場開催状況)

(単位：回、人)

区分	開催回数	参加者数	1回平均参加者数
本館	36	181	5.0
恵庭	17	63	3.7
島松	14	94	6.7
計	67	338	5.0

### ・家読推進及び講演会事業

・家読講演会「みやにしたつや絵本ライブ」

コロナ禍の影響により延期

### ・小・中学生調べる学習コンクール

・参加児童生徒 387人 (小学校126人、中学校261人)

・作品点数 357点 (小学校126点、中学校231点)

### ・小・中学校学校司書の配置 (P.157・160)

・市内13小中学校に各1名配置 (和光小 2名)

### ・小・中学校の図書の充実 (P.157・160)

1) 小学校学校図書館の現況

(単位：冊)

	R3年度	R2年度	増減
貸出冊数	210,827	194,557	16,270
一人当貸出数	56.6	51.7	4.9
蔵書冊数	81,416	81,770	△354
一人当蔵書数	21.6	21.7	△0.1

2) 中学校学校図書館の現況

(単位：冊)

	R3年度	R2年度	増減
貸出冊数	40,234	45,419	△5,185
一人当貸出数	20.5	23.3	△2.8
蔵書冊数	62,238	61,661	577
一人当蔵書数	31.9	31.6	0.3

## 目標16 子どもの自立成長を促す学校教育

「自ら課題を見出し解決する力」「社会、自然等とともに生きる力」「生涯にわたって学び続ける力」を身に付け、自立心のある子どもたちの育成をめざすため、児童生徒一人ひとりの学習を活性化する協働学習の環境整備を図り、一人ひとりのニーズに沿った環境整備に努めました。

### ●ふるさと教育の推進

・特色ある学校づくり (P. 153)

(教育振興推進交付金事業内容)

(単位：千円)

学 校 名	事 業 内 訳	事業費 (補助額)
恵庭小学校	サケ飼育学習、総合学習、全校集会活動充実、児童登下校時安全対策、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	645 (495)
島松小学校	サケ飼育学習、学校課題取組推進、特別活動推進、総合学習、花いっぱい運動・栽培活動推進、学校支援地域本部事業	275 (275)
柏小学校	サケ飼育学習、いじめ・不登校対策研究等、教材園での栽培、校地内での体験活動、読書環境整備、児童の交通安全意識啓発、総合学習、ふれあい広場、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	299 (289)
和光小学校	サケ飼育学習、学年学級活動推進、わ・和・輪スクール、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	346 (346)
松恵小学校	学校農園活動推進、体力づくり推進、基礎学力定着推進、国際理解教育推進、総合学習、サケ飼育学習、集団づくりのための取組、情報図書館まつり、学校花壇活動の推進、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	357 (357)
若草小学校	若草ふれあいスクール、総合学習の充実、児童会活動の充実、サケ飼育学習、学校力向上総合実践事業重点課題の達成、学校花壇の整備、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	378 (378)
恵み野小学校	サケ飼育学習、校舎内外の教育環境整備、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	445 (445)
恵み野旭小学校	児童会活動、サケ飼育学習、基礎学力向上、総合学習、情報教育、環境整備、学校支援地域本部事業	282 (282)
恵庭中学校	吹奏楽演奏活動・楽器購入、総合学習、ゲストティーチャー、サケ稚魚飼育・ふるさと教育、生徒会活動充実、PTA・町内会と連携した花づくり、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	723 (723)
恵北中学校	学校運営推進事業、生徒会活動推進、総合学習、特別支援教育支援事業、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	485 (485)
恵明中学校	総合学習、サケ稚魚飼育、生徒会活動充実、地域住民・保護者・生徒交流、吹奏楽部の充実・楽器整備、花壇整備の活動、学校支援地域本部事業	652 (652)
柏陽中学校	サケ稚魚飼育、自主的な生徒の活動支援、総合学習、学校花壇及びフラワーロード整備活動、学校支援地域本部事業	336 (336)
恵み野中学校	サケ稚魚飼育、生徒会活動、情報教育推進、中庭整備、総合学習、学校緑化推進・環境美化奉仕、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	396 (396)
合 計		5,619 (5,459)

●教育環境の整備促進

・幼稚園・認定こども園（1号認定こども）

（令和4年3月1日現在）

区 分	年齢別の入所児童数				合 計
	満3歳	3歳	4歳	5歳	
恵庭幼稚園	21人	35人	36人	47人	139人
島松幼稚園	0人	26人	24人	23人	73人
クラーク幼稚園	42人	69人	59人	91人	261人
第二かしわ幼稚園	28人	55人	59人	69人	211人
恵み野第二幼稚園	14人	26人	41人	41人	122人
恵み野幼稚園・保育園	16人	23人	29人	35人	103人
ひまわり幼稚園・保育園	16人	42人	45人	56人	159人
さくら	2人	8人	2人	5人	17人
えほんの森	0人	6人	3人	3人	12人
幼稚舎えるむ	5人	8人	2人	2人	17人
えにわスマイル保育園	0人	5人	4人	3人	12人
かしわ幼稚園・保育園	14人	28人	27人	36人	105人
あいおい子ども園	8人	4人	7人	2人	21人
北海道文教大学附属幼稚園	2人	4人	2人	1人	9人
合 計	168人	339人	340人	414人	1,261人

・特別支援教育の推進（P.152）

障がいのある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進するため、個別支援体制の強化をはじめとした総合的な支援体制の充実を図りました。

1) 学校の支援体制

- ・校内支援委員会 ～ 全小中学校13校に設置
- ・特別支援教育コーディネーター ～ 13校に25名を指名

2) 巡回相談体制

- ・特別支援教育推進委員会 専門委員6名

3) 学校補助員配置状況

（単位：校、人）

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	8	14	1日4時間、週5日間、 年間35週	通常学級在籍で特別な支援を必要 としている児童生徒
中学校	5	6		

4) 特別支援学級補助員配置状況

（単位：校、人）

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	7	10	週29時間勤務	特別支援学級在籍で支援を必要と している児童生徒
中学校	5	5		

5) 令和3年度 特別支援学級・特別支援学校就学の状況

区 分	特別 支援 学校	特別支援学級					計
		情緒	知的	肢体	言語	病弱	
新入学児童	5	7	11	0	0	0	18
在学児童生徒	1	30	14	0	0	0	44
計	6	37	25	0	0	0	62

6)特別支援学級在籍・通級指導教室の状況 (R3.5.1現在)

区 分	特別支援学級							言語 通級 教室	発達 通級 教室
	情緒	知的	肢体	言語	病弱	難聴	計		
小学校在学	61	48	5	1	2	0	117	38	103
中学校在学	24	23	4	0	0	1	52	-	-
計	85	71	9	1	2	1	169	38	103

・児童生徒の相談体制の充実 (P.151~152)

青少年指導員：8名

全小中学校児童生徒を対象としたいじめや不登校等の問題への対応と未然防止のため、メンタルフレンド事業の普及やスクールソーシャルワーカーの配置をはじめ相談体制の充実を図りました。

1)非行少年の状況

(単位：人)

区 分	R3 年度			R2 年度			比 較		
	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計
小 学 生	5	0	5	1	1	2	4	△ 1	3
中 学 生	38	1	39	14	1	15	24	0	24
高 校 生	4	2	6	1	0	1	3	2	5
有 職 無 職 青 年	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 学 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	47	3	50	16	2	18	31	1	32

2)電話相談件数

相談件数 2件 (前年度比1件減)

3)スクールカウンセラー活用事業

スクールカウンセラーの配置 (5名)

(単位：校、回)

	学校数	派遣回数	
小学校	8	98	市スクールカウンセラー派遣 1名 1,508時間 (道カウンセラーと兼任)
中学校	5	120	
市民会館		8	道スクールカウンセラー派遣 4名 389時間

相談内容別相談件数

(単位：件)

相談内容	いじめ	不登校	友人関係	家庭環境	その他	合 計
相談件数	0 (0)	526 (17)	74 (2)	218 (11)	804 (4)	1,622 (34)

その他：スクールカウンセラーの授業見学・研修会講師・ケース会議・家庭訪問等

相談者別相談件数

(単位：件)

相談者	児童生徒	保護者	教職員	その他	合 計
相談件数	280 (6)	444 (23)	764 (5)	134 (0)	1,622 (34)

※ ()内は市民会館相談件数

4)不登校児童生徒の適応指導教室

- ・指導員の配置 専任3名
- ・通室状況 小学生4人・中学生50人通室
- ・学校復帰 完全復帰3人、不定期登校・別室登校14人

5)メンタルフレンド事業

ボランティア登録者数（北海道文教大学の学生）

4名

派遣実績：小・中学生ともに0件…メンタルフレンド研修1回実施

6)なかよしさわやかDAY全市交流会

コロナ禍の影響により以下の代替事業を実施しました。

8月には当番中学校の集会の様子、呼びかけ等をDVDに収録し、全小中学校で視聴し、全小中学校の児童生徒会役員でワークシートを実施しました。11月には当番小学校にて、いじめ防止に対する呼びかけをDVDに収録し、全小中学校で視聴し、全小中学校の児童生徒会役員でワークシートを実施しました。

・学力・体力向上推進事業（P.153～154）

10,343千円

・学力体力向上推進会議の設置

委員：9名 開催日：7月8日、3月2日

・学力向上アドバイザーの設置 会計年度任用職員1名

・標準学力検査（NRT）の実施（小学校2～6年生、中学校全学年）

・英検I B A（英語力の測定）の実施（中学校全学年）

・地域人材の活用 小学校外国語授業 個人3名、1団体

体育授業等実技支援 1団体 小学校7校 44回

中学校1校 6回

・部活動指導員配置事業（P.150）

部活動指導員を導入することにより、教員の部活動に関わる時間を軽減し、教材研究や生徒との面談等の時間を確保することなど、教員の「働き方改革」を推進するとともに、生徒が協議に理解のある指導員から指導を受けることで、技術の向上・けがの未然防止・個々に応じた適切な練習法の導入など、部活動の質的な向上を図りました。

配置状況：恵庭中学校 女子卓球部1名（年210時間）

恵明中学校 女子バトミントン部1名（年194時間）

・小学校、中学校環境整備事業（P.159～160・162～163）

・恵庭小学校長寿命化改良事業

524,166千円

管理棟の長寿命化改修工事

・恵み野旭小学校校舎講堂煙突石綿対策事業

31,345千円

煙突部石綿除去工事

・恵み野小学校校舎講堂防音機能復旧事業

30,416千円

老朽化したボイラー設備等の更新工事

・和光小学校東校舎屋上防水改修事業

11,054千円

屋上防水改修工事

・小学校消防設備改修事業

5,533千円

消防設備改修工事

・和光小学校東校舎防音機能復旧事業

26,520千円

老朽化したボイラー設備等の更新工事

・恵庭小学校講堂トイレ改修事業

27,830千円

体育館トイレ改修工事

- ・ 恵北中学校特別教室棟講堂防音機能復旧事業  
老朽化したボイラー設備等の更新工事 50,239千円
- ・ 中学校消防設備改修事業  
消防設備改修工事 2,750千円
- ・ 恵庭中学校校舎防火設備改修事業  
防火シャッター改修工事 24,816千円
- ・ 柏陽中学校エレベーター新設事業  
エレベーター新設に係る実施設計 3,020千円

・ 小学校教育端末整備事業 (P.157) 32,025千円

小学校4年生分端末466台を整備しました。令和4年度に小学校3年生以下の端末を整備することで、1人1台端末環境が整備される予定です。

・ GIGAスクールサポーターの配置 (P.150)

GIGAスクール端末を活用した授業を円滑に実施するため、GIGAスクールサポーターを1名配置しました。

・ 高等学校等入学準備金支給事業 (P.151) 3,540千円

経済的な理由から高校等への修学に困難を有する生徒に対し、入学準備金を支給しました。令和3年度から支給額を3万円に増額しました。

支給者数：118人（前年度124人）

・ 学校における食農教育の推進 (P.155～156)

栄養教諭による学校給食を活用した食育の推進を図ったほか、家庭への「給食だより」「しょくいく」配布、給食協会ホームページへの給食献立等の掲載により、市民への情報発信と食育の啓蒙を実施しました。

1) 小学校給食

・ センター稼働日数 205日、実施学校 市内全校（8校）

<実施状況>

(単位：回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	食数	784,089
実施回数	184～ 195	190～ 197	191～ 197	191～ 197	191～ 195	188～ 194		

2) 中学校給食

・ センター稼働日数 196日、実施学校 市内全校（5校）

<実施状況>

(単位：回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	食数	394,980
実施回数	190～ 195	188～ 192	175～ 184		

3) その他

- ・ 給食だより・しょくいく発行：毎月発行4月～3月（12か月）
- ・ 協会ホームページへの掲載：毎月の給食献立及び食育情報
- ・ 市ホームページへの掲載：主要な食材の産地等情報



## 目標 17 手を取り合い創造性を育む文化芸術

世代を超え、誰もが文化芸術活動に気軽に参加できるようなコミュニティづくりを図り、活動がつながり、支えあう仕組みづくりと全市民が一体となった文化芸術の振興を行うため、学校・社会教育施設と文化芸術活動団体等との連携の強化、文化芸術の担い手やボランティアの育成に努めました。

### ●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進

身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの機会拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めました。

- ・ 桜町会館防音機能復旧事業 (P. 169) 40,182千円  
老朽化したボイラー設備等の更新工事
- ・ 和光会館防音機能復旧事業 (P. 169) 2,192千円  
老朽化したボイラー設備等の更新に係る実施設計
- ・ 東恵庭会館改修事業 (P. 169) 3,803千円  
憩い家と地区会館の機能集約に必要な内部改修に係る実施設計
- ・ 市民会館改修事業 (P. 169) 3,090千円  
消防設備及び外構擁壁改修工事
- ・ 市民会館音響設備整備事業 (P. 170) 3,817千円  
大ホールワイヤレスマイクシステムの更新整備

#### ・ 公民館活動等の充実 (P. 170)

(単位：講座・人)

講座等事業名	講座数	受講者数
市民講座	18	249
公民館サークル	34(団体)	367
日曜趣味講座	2	11
パソコン講座	4	40

(単位：講座・人)

講座等事業名	講座数	受講者数
親子ふれあい教室	2	36
ピアノコンサート	1	92
スマートフォン教室	3	51

#### ・ 図書資料の充実 (P. 170～171)

##### 1) 蔵書冊数の現況

(単位：冊)

区分	一般書	児童書	小計	雑誌	合計
本館	159,133	40,460	199,593	9,780	209,373
恵庭	28,576	15,194	43,770	777	44,547
島松	23,038	9,643	32,681	468	33,149
計	210,747	65,297	276,044	11,025	287,069

## 2)貸出状況

(単位：冊)

区分	利用者数	一般書	児童書※	雑誌	計	開館日数	一日平均
本館	95,625	211,663	126,100	18,122	355,885	272	1308.4
恵庭	31,565	64,823	45,183	4,245	114,251	272	420.0
島松	10,088	29,252	16,835	2,035	48,122	272	176.9
黄金	1,387	1,407	628	101	2,136	307	7.0
かしわ	552	797	105	6	908	308	2.9
北高	13	21	0	0	21	-	-
南高	0	0	0	0	0	-	-
計	139,230	307,963	188,851	24,509	521,323	-	1,915.2

※絵本、紙芝居は児童書を含む

## 3)団体貸出状況

区分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数
本館	390	65	11,462
恵庭			624
島松			551
計			12,637

## 4)レファレンス(資料相談)状況

区分	件数
本館	6,041
恵庭	3,044
島松	3,098
計	12,183

## 5)予約リクエストサービスの状況

(単位：冊)

区分	所蔵資料の 受付件数	未 所 蔵									計
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学図書館	提供不可	小中学校	
本館	4,383	288	143	87	206	10	4	1	8	0	747
恵庭	2,123	139	58	33	112	1	0	0	0	0	343
島松	2,261	167	18	10	30	0	0	0	3	0	228
計	8,767	594	219	130	348	11	4	1	11	0	1,318

## 6)インターネット予約サービス

・受付件数：30,331件

## ・市内配本サービスの充実

配本車による図書館と学校間の全域利用状況

- ・学校への貸出冊数 8,540冊
- ・学校間の貸出冊数 2,558冊

## ・長寿大学の推進

生涯学習社会にふさわしい学習機会を提供し、生きがいくりと健康で楽しい生活を送られるよう長寿大学を実施しました。(コロナ禍の影響により5月17日～8月まで休学)

- ・授業回数 11回
- ・学生在籍数(最終) 140人

## ・えにわ学講座の推進

多様なジャンルから総合的に学び、ふるさとの魅力を発見し、豊かな文化の継承と住みよいまちづくりを進める学び場としてえにわ学講座を開催しました。

開催日数：1回 参加者数：16人 (前期はコロナ禍の影響により中止)

・リカレント公開講座の推進

大学で開催される市民向け講座を受講する高齢者に対して長寿大学の単位を認定するなど、市民の生涯学習意欲の向上を図りました。

リカレント公開講座大学名	講座数	受講者延人数
北海道文教大学公開講座（長寿大学指定分）	9	88

・家庭教育支援事業

学齢期・思春期の子どもを持つ親が子どもの成長、発達の中でどのように子どもと関わるべきか学び、家庭内教育力の向上を図りました。

事業名	延事業回数	延参加人数	内 容
学びカフェ	11	58	緩やかな学びの場を提供
えにわままつぷ	0	0	コロナ禍の影響により中止

・女性教育振興事業

コロナ禍の影響により中止

・生涯学習施設かしわのもり利用状況（P. 164～165）

- ・開館日数 313日 利用人員 21,510人
- ・利用内容 スポーツ練習場 49.6% 子どもひろば 16.3%  
子育て支援 18.1% その他 16.0%

・生涯学習施設かしわのもり冷房設備整備事業（P. 165）

10,097千円

冷房設備を4台設置し、施設利用者等の熱中症の予防や収容避難所としての環境改善を図りました。

・夢創館の活用（P. 164）

夢創館の活性化を図るため、自主文化事業をはじめ各文化団体と市が連携し事業を実施しました。

開館日数	296日	利用団体数	185団体	利用人数	4,618人	利用日数	169日
------	------	-------	-------	------	--------	------	------

指定管理者 開催事業	百歳体操（23回）	参加者 287人
	手作り雑貨マーケット（1回）	参加者 208人
連携等事業	北海道文教大学芸術祭	参加者 223人
	徳田貴子ピアノリサイタル	参加者 70人

・史跡カリンバ遺跡の整備（P. 167）

1,605千円

カリンバ遺跡について、史跡整備と土中に埋蔵されている漆製品等の保護等に役立てるため、水文環境調査を行いました。また、史跡保護等の啓発を目的に花植えや草刈りなどの環境整備、講演会・講座、カリンバまつり、体験学習等をボランティア団体等と共同で開催しました。

・市内遺跡の発掘調査等（P. 168）

22,346千円

・発掘調査

遺跡名	発掘等原因	面積	時代	出土遺物
ユカンボシE1遺跡	個人住宅	270.0㎡	縄文時代	約10万点

- ・試掘調査 5件（島松寿町2遺跡等）
- ・埋蔵文化財保護のための事前協議 22件（ユカンボシE1遺跡等）
- ・埋蔵文化財包蔵地の照会 98件（ユカンボシE1遺跡等）
- ・金属製品保存処理 太刀等計13点

・郷土資料館の運営・事業 (P.166~167)

・入館者数 3,722人 (前年度比△734人)

(学習会等開催状況)

(単位：人、回)

区 分	R3年度	R2年度	比 較
学習会参加者数 (回数)	151 (8)	305 (7)	△154 (+1)

・アイヌ政策推進交付金事業 (P.167~168)

2,483千円

・アイヌ墓副葬品等保管室設置

・アイヌ文化マスター育成事業 参加者：4人

アイヌ文化等への理解を深めるため、アイヌ文化やアイヌ語の学習、釧路市阿寒での1泊2日の研修やウポポイでのアイヌ料理調理体験プログラムなど全8回の講座や見学、体験等を行いました。

・アイヌ文化学習見学会事業 参加者：23人

アイヌ文化やアイヌと和人との関りを深く学ぶため、だて歴史文化ミュージアムとウポポイを見学しました。

●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり

文化団体を育成支援し、市民が芸術活動を発表する場や機会などの環境を整備するとともに、芸術鑑賞機会の拡充を図りました。

・芸術鑑賞機会の充実

コロナ禍の影響によりえにわ市民文化祭は中止しました。市内で文化芸術活動をされている方の発表機会、市民の文化芸術活動の鑑賞機会を増やすことを目的に、令和2年度に「えにアートギャラリー」を開設し、令和3年度も同様に市民による作品を花の拠点（はなふる）で展示しました。

・文化団体の育成支援 (P.163~164)

文化団体を育成し活動を安定的なものにするため支援しました。

・恵庭市文化協会補助金 350千円

・郷土芸能団体への補助金（2団体） 195千円

・文化活動奨励補助金（3団体） 395千円

・えにわ芸術文化宅配事業 (P.164)

・登録作品数 ～ 絵画43点、書25点、写真55点、アート書道12点、ワークショップ22点

・展示箇所 ～ 46箇所（工場、金融機関、飲食店、事業所、幼稚園等）

・海外都市交流の促進 (P.66)

恵庭市国際化の指針及び恵庭市国際化推進アクションプランに基づき、多様な交流を通じた世界に開かれた地域づくりと市民と地域の外国人にとって住みよいまちづくりに取り組みました。

・多文化共生のまちづくり連絡協議会の開催 2回

・多文化共生のまちづくりの啓発

地域生活情報誌へのコラム掲載 10回

講演会・セミナーを実施

・日本語ボランティア入門講座（オンライン） 3回 受講者延52名

・自動翻訳機の活用

東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業等で使用しました。

・恵庭市史の編さん (P.58)

5,298千円

恵庭市史編さん委員会の開催 9回開催

年度内に最終校正を行い、令和4年度より刊行することができる体制を整えました。

## 基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち

### 目標18 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

恵庭・島松・恵み野駅を地域の中心とし、地域の特徴を生かしたコンパクトな市街地整備を進めるとともに、自立した都市として商業・業務・工業・文化・学ぶ・にぎわいなどの都市機能の充実をめざした計画的なまちづくりを進め、だれもが安心安全に暮らすことができる利便性の高い都市機能の集積と都市基盤の整備を進めました。

#### ●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進

駅周辺への都市機能の集積やバリアフリー化を目指すとともに、既存市街地の未利用地解消を進めました。

##### ・島松駅周辺再整備事業 (P. 140)

45,828千円

北海道運輸局、JR北海道、恵庭市の3者で構成される協議会において、「JR千歳線島松駅生活交通改善事業計画」を策定し、JR北海道が事業主体となり島松駅のバリアフリー化を推進しており、令和3年度については跨線橋の改修やトイレ改修を行いました。

##### ・バリアフリー特定事業 (P. 138)

47,080千円

バリアフリー基本構想に基づき、公共施設や都市公園、商業施設及びその経路のバリアフリー化を進めました。

##### ・実施路線

島松駅通 L=165m

##### ・西島松地区土地利用推進事業 (目標13に別掲)

全体面積約2.2haに宅地70区画を造成しました。周辺道路整備を行い、開発区域から市道島松大通に接続する市道新設工事を発注しました。接続道路は令和4年7月完成を予定しています。

## 目標 19 水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境を維持していくため、自然景観の保全と農村景観の維持に努めました。

また、基地との共存をめざし、市内3駐屯地の体制維持、強化を引き続き要請し、併せて防衛施設の設置・運用により生じる障害軽減や緩和を図る防災・防音・民生安定施策を推進し、周辺地域の生活環境向上に努めました。

### ●水・緑など恵庭の魅力の維持

#### ・小学生ふるさと景観絵画コンクール (P. 150)

市民が景観に対して意識や関心を持ち、主体的な景観作りを定着させるため市内小学生を対象に「ふるさと景観絵画コンクール」を実施しました。

- ・表彰作品展示期間 令和3年11月26日～12月3日
- ・市長賞1名、教育長賞1名、審査員特別賞1名、優秀賞7名、佳作11名

#### ・水と緑のまちづくり推進事業 (P. 133・141)

市民植樹・記念樹の贈呈・花苗植栽等による環境美化事業を行い、水と緑のまちづくり推進について、市民と協働し取り組みました。

- ・記念樹贈呈事業 新築・誕生・結婚記念 イチイ7本、ハスカップ63本、ブルーベリー221本、ヤマボウシ47本
- ・市民植樹公園・緑地帯 アジサイ50本、八重桜15本
- ・花壇植栽事業 グリーンベルト花壇・黄金フラワーロード・国道36号
- ・公共施設花壇設置事業 市庁舎・支所・出張所、黄金ふれあいセンター、図書館等各施設
- ・緑の少年団支援事業 松恵小学校全児童が学校農園、花壇作り、クリーン活動を実施し、6年生は自分たちが育てた花で卒業式の会場装飾を行いました。

#### ・街路樹剪定・適正管理事業 (P. 137・140)

16, 150千円

幹線道路沿線の街路樹について、計画的な剪定と間引き伐採を進めることで快適な道路環境の維持に努めました。

#### ・植樹樹・植樹帯管理助成事業 (P. 137)

1, 705千円

地域の環境改善や道路沿線の美化の促進のため、植樹樹・植樹帯の美化活動を実施した団体へ助成を行い、緑豊かで潤いのある街づくりを推進しました。

- ・実施団体：37団体

#### ・公園施設長寿命化改修事業 (P. 141)

35, 134千円

- ・公園遊具改修 3公園7施設 外柵更新

#### ・街区公園美化活動助成金 (P. 141)

1, 453千円

- ・助成対象町内会 14町内会 27公園

#### ・河川愛護会補助金

コロナ禍の影響により中止

●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保

- ・ 恵浄殿改修事業 (P. 115~116) 11,622千円

恵浄殿改修計画に基づく主な改修

- ・ 炉耐火ベッド交換 (1号炉、2号炉)、セラミック1層張替え (2号炉、3号炉)
- ・ 中央監視システム改修
- ・ 外壁屋上改修実施設計

- ・ 墓園整備事業 (P. 277) 561千円

- ・ 無縁墳墓の再整備 (2区画分)

●防衛施設周辺整備等事業の推進

防衛施設設置により生じる障害を防止し、周辺地域における生活環境の向上を図りました。

- ・ 防音(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条第2項)
- ・ 民生安定施設整備(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条)

(単位：千円)

事業名	種別	事業費	補助金	その他
和光小学校東校舎防音機能復旧事業費	防音	26,520	23,867	2,653
恵北中学校増築校舎・講堂防音機能復旧事業費	防音	50,239	37,172	13,067
恵み野小学校校舎・講堂防音機能復旧事業費	防音	30,126	27,112	3,014
桜町会館防音機能復旧事業費	民生安定	40,172	20,328	19,844
無線放送施設整備費	民生安定	107,236	80,427	26,809
合計		254,293	188,906	65,387

※事業費は補助対象額以外の関連事務経費等を含む。

- ・ 国有提供施設等所在市町村助成交付金 (P. 20)

区分	交付額(千円)
R3年度	247,602
R2年度	250,439
前年比	△2,837

・特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条)  
(P. 20~21)

区 分	交付額(千円)
R3 年度	363,429
R2 年度	367,726
前年比	△4,297

・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の推進 (単位：千円)

事業名	事業費	調整交付金	その他
子ども医療費助成事業(基金造成)	33,579	33,579	0
恵浄殿改修事業	2,112	2,108	4
最終処分場油圧ショベル整備事業	16,709	16,000	709
道路整備事業	100,997	97,000	3,997
消防吏員防火衣等更新整備事業	12,903	11,639	1,264
消火栓更新整備事業	12,520	11,082	1,438
消防団資器材整備事業	1,418	1,309	109
はしご付消防ポンプ車更新整備事業(基金造成)	5,000	5,000	0
大型水槽付消防ポンプ自動車更新整備事業	65,002	61,320	3,682
多目的小型動力ポンプ付積載車整備事業	21,275	21,000	275
学校給食センター施設整備更新事業	4,237	3,831	406
恵庭小学校長寿命化改良事業	10,120	9,980	140
小学校屋上改修事業	11,054	10,000	1,054
小学校消防設備改修事業	5,533	5,200	333
中学校消防設備改修事業	2,750	2,500	250
生涯学習施設かしわのもり冷房設備整備事業	10,097	8,761	1,336
市民会館消防設備改修事業	802	750	52
市営牧場農業機械整備事業	3,938	3,663	275
花の拠点整備事業	799	730	69
救命講習普及促進事業	1,724	1,600	124
学校給食センター備品整備事業	6,050	5,605	445
学校給食センター厨房用設備更新事業	2,310	2,245	65
教育端末整備事業	32,025	30,120	1,905
校内放送機器更新整備事業	15,697	15,257	440
市民会館音響設備整備事業	3,817	3,150	667
合 計	382,468	363,429	19,039

※事業費には調整交付金対象額以外の関連事務経費等を含む



## 目標 20 安全で円滑な地域交通

市民と行政が一体となり、それぞれの役割を担う市民協働の体制により、少子高齢化・人口減少社会に対応した利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図りました。

### ●除排雪の維持

- ・除雪の状況 (P.136～137)

区 分	延 長 (km)						出勤日数(日)	
	車道 (直営)	車道 (委託)	車道計	歩道 (直営)	歩道 (委託)	歩道計	直営	委託
R3 年度末	154.5	383.9	538.4	50.1	142.0	192.1	49	27
R2 年度末	154.5	386.7	541.2	49.5	141.7	191.2	29	15
比 較	0.0	△2.8	△2.8	0.6	0.3	0.9	20	12

- ・高齢者除雪サービス事業 (目標9に別掲)

高齢者世帯など除排雪作業が困難な方へ、地域のボランティアなどによる支援を行いました。

### ●身近な市民の足の確保 (新公共交通システムの構築)

第3次恵庭市地域公共交通総合連携計画、及び第2次恵庭市駐車場・駐輪場基本計画に基づきコミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用促進、市民駐車場・駐輪場の適切な管理及び利用拡大に努めました。

- ・新公共交通システムの構築 (P.59～60)

106,238千円

運転免許証返納者を対象に、エコバス・エコタク共通回数券を交付し、利用促進を図りました。

令和2年11月にはなふるがオープンしたことに伴い、令和3年4月から「はなふる」停留所の増設及びダイヤ改正を行いました。

- ・地域公共交通活性化協議会 : 2回開催
- ・えにわコミュニティバス運行状況

路 線	便 数 ( )は土・日・祝日	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券・定期券収入 (円)
A・Bコース	50便 (27便)	263,697	738.6	45,229,832

- ・乗合タクシー運行状況

便 数	乗車人数 (人)	1日平均乗車人数 (人)	運賃・回数券収入 (円)
7便	7,376	25.6	1,666,650

- ・市民駐車場・駐輪場の管理 (P.59・286)

- ・有料駐車場状況

(単位:台)

駐車場名	面積(m <sup>2</sup> )	供用開始年月日	収容台数	利用台数
恵庭駅東口	2,907	H19.10.1	105	29,191
恵み野駅東口	3,385	H19.12.1	125	22,488
島松駅横	3,090	H19.12.1	109	19,218
恵み野跨線橋下東	3,977	H21.1.1	72	18,722
恵み野跨線橋下西	3,305	H21.1.1	73	9,967
恵庭駅西口	2,142	H22.11.1	83	26,821

- ・駐輪場状況

(単位:台)

駐輪場名		収容台数	駐輪場名		収容台数
恵庭駅	東口(札幌側)	371	恵み野駅	東口	743
	東口(千歳側)	433		西口	226
	西口高架下	382	島松駅		423
	西口屋内	550	サッポロビール庭園駅		35

● 橋梁耐震化など安全な道路網の維持

都市の骨格となる幹線道路の整備や橋梁耐震化による安全な道路網の確保の他、生活道路の道路改良や維持修繕、歩道の修繕により、沿道の環境整備を進めました。

・ 道路・街路整備事業 (P. 138~139)

1) 生活道路整備事業 (調整交付金事業) 100,997千円

2 路線、改良舗装工事 L = 660.42m

1 路線、測量調査設計 L = 637.64m

2) 生活道路整備事業 (地方道路等整備事業) 39,173千円

2 路線、改良舗装工事 L = 150.30m

1 路線、測量調査設計 L = 604.91m

・ 市道の舗装状況

区分	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)
R3 年度末	535,211	398,405	74.4
R2 年度末	534,350	396,498	74.2
比較	861	1,907	0.2
増加率(%)	0.2	0.5	0.3

・ 道路補修事業 (P. 137)

163,980千円

簡易舗装修繕

恵み野地区・柏陽地区 車道オーバーレイ A = 6,127㎡

歩道舗装補修 A = 2,252㎡

車道舗装補修 A = 3,232㎡

道路施設補修工事 ガードレール補修 L = 270m

恵庭駅・恵み野駅エレベーターエスカレーター改修

・ 橋梁長寿命化事業 (P. 137~138)

355,801千円

橋梁補修工事 4 橋、橋梁補修設計 4 橋 (321,217千円)

橋梁点検 4 9 橋 (34,584千円)

・ 鉄道横断施設整備事業 (P. 138)

73,447千円

島松大通アンダーパス補修 L = 95.34m

・ 幹線道路舗装補修事業 (P. 138)

61,414千円

松園線道路補修工事 L = 353.86m

・ 南26号交差点改良事業 (P. 139)

49,544千円

国道36号交差点右折車線設置工事

・ 自転車の利用促進と恵庭市の魅力発信 (P. 63)

2,000千円

自転車に関する関心を高め、自転車の利用促進と、恵庭を知って、見て、感じてもらい、「農業」「観光」「商業」等、関連産業との連携、地域観光・経済の活性化を図ることを目的とした自転車イベントを開催しました。今年度はコロナ禍により単日開催から開催期間内に市内チェックポイントを自由に走行する方式に変更し、実施しました。

・ サイクルフェスタ恵庭2021：令和3年9月15日～9月30日

参加者178人

●照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持

・道路照明灯LED化事業 総事業費 317,407 千円 R3 決算額 7,935 千円 (P.137)

恵庭市街路灯LED化事業 (契約期間 R4 年 1 月～R13 年 12 月)

	既設照明灯数 (基)	うち水銀・ナトリウム灯 (基)	うちLED灯 (基)	電力使用料 (千円)
R3 年度	2,273	33	2,240	39,274
R2 年度	2,196	1,958	238	43,572
比較	77	△ 1,925	2,002	△ 4,298

※R3 年度に残置している水銀・ナトリウム灯は、基線通整備で更新予定および現在休止中の照明

## 目標 2 1 安定した水供給と持続的な下水処理

令和3年度も恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略、恵庭市下水道事業経営戦略に基づき、効率的な上下水道事業の運営に取り組みました。

### ●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営

- ・恵庭市下水道事業ビジョン及び経営戦略改定委託事業 (P.373) 5,940千円

下水道事業において、平成30年5月策定の経営戦略から、汚泥乾燥施設の稼働や官民連携バイオガス発電事業を開始するなど、事業に大きな変更があったことや、下水道事業の将来展望を示すため、新たに下水道ビジョン・経営戦略を策定しました。(令和4年3月策定)

計画期間：令和4年度～令和13年度

### ●最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道事業の運営

災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と、上下水道設備の耐震化や長寿命化事業を進めました。

- ・配水管等整備事業 (P.335～336) 485,885千円

- 1) 配水管布設工事 44,009千円
  - ・φ50～φ150 L=979.9m
- 2) 配水管布設替工事 366,330千円
  - ・φ50～φ250 L=6,579.2m
- 3) メーター取替工事等 59,486千円
  - ・検満メーター取替 4,126個
- 4) その他工事 16,060千円
  - ・応急給水資材車庫整備工事 1式

- ・恵庭市上下水道管路台帳システム構築事業 (P.341・398) 46,156千円  
(水道事業負担分37,345千円、下水道事業負担分8,811千円)

適切な資産管理の推進、業務の効率性、正確性及び利用者の利便性の向上を図るため、水道法改正に伴う台帳整備、タッチパネル式窓口課金システム、災害や漏水事故に対するタブレットによる現場対応などの機能を備えた台帳システムの構築を行いました。

- ・下水道管渠整備事業 (P.392) 592,268千円

- 1) 分流化
  - ・汚水管布設 φ200mm L=2,369.55m
- 2) 老朽化対策
  - ・管更生(汚水) φ1,200mm L=129.91m
- 3) 浸水対策
  - ・雨水管布設 φ250～φ1,500mm L=858.98m
- 4) 汚水整備
  - ・汚水管布設 φ150～φ200mm L=360.76m

・公共下水道 整備及び水洗化状況

区 分	令和3年度末	令和2年度末	比 較
事業計画区域 (ha)	1,887.1	1,887.1	0.0
整備済区域 (ha)	1,874.6	1,867.6	7.0
整備率 (%)	99.3	99.0	0.3
処理区域内人口 (普及人口) (人)	68,374	68,356	18
水洗化人口 (人)	68,258	68,233	25
水洗化率 (%)	99.8	99.8	0.0
水洗化戸数 (戸)	21,690	21,529	161

・下水終末処理場整備事業 (P. 393)

79,525千円

1) 改築・更新工事

- ・改築工事委託に関する協定
- ・設備更新工事

2) 耐震補強工事

- ・耐震補強工事委託に関する協定

・個別排水処理施設整備事業 (P. 393)

12,988千円

- ・新設 7基 (5人槽 5基、7人槽 2基)

●他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、効率的な資源・エネルギー循環の取組み

・官民連携バイオガス発電事業 (P. 369)

恵庭下水終末処理場では、地域バイオマスとしてし尿・浄化槽汚泥及び生ごみを受入れ、下水汚泥と混合処理することで発生するバイオガスを利用した発電事業を行っています。

令和2年度からは、ごみ焼却施設から供給される排熱を既存の加温設備の熱源として利用することで発電に利用できるバイオガス量が大幅に増えることを踏まえ、直営事業(場内利用)から固定価格買取制度(FIT)を活用した民設民営による発電事業へ転換しています。

市は民間発電事業者(水ingエンジニアリング株)にバイオガスを売却、民間発電事業者はバイオガスを利用して発電し、売電を行います。

- ・バイオガス売却量 1,835千Nm<sup>3</sup>
- ・バイオガス売却益 81,818千円
- ・バイオガス発電量 3,511千kwh

## 目標 2 2 住み続けたくなるまちづくり 住まいづくり

少子高齢化社会や循環型社会に対応した、良好で安全安心な住環境及び都市環境の向上のため、良質な居住水準の確保と、市営住宅の担うべき役割を踏まえた住宅のストックや各種整備に努めました。

### ・市営住宅の管理

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の修繕・改修工事の実施や、柏陽・恵央団地建替事業の推進を図るため、他の市営住宅への移転や、新たな市営住宅の建設に着手しました。

### ・市営住宅維持修繕 (P. 143)

30,964千円

修繕業務の一括委託及び夜間休日対応の委託化により、初期対応や緊急性判断などを迅速に行うことが可能となり、市営住宅管理業務の効率化を図っております。

### ・新規入居者用修繕 (P. 143)

9,119千円

新規入居者募集に係る空家修繕を14室実施。

### ・市営住宅長寿命化改修事業 (P. 143)

58,355千円

福住団地1号棟屋根外壁改修工事

### ・市営住宅柏陽・恵央団地建替事業 (P. 143~144)

15,933千円

建替事業へ向けて、柏陽団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施。

・移転件数 32戸 ・移転先修繕 14室

### ・恵央団地6号棟建設事業 (P. 144)

272,427千円

柏陽団地入居者移転先として、恵央団地6号棟の建設に着工。

### ・令和3年度末市営住宅管理戸数

(単位：戸)

名称	建築年度	戸数	形式
柏陽団地	S46～S52	328	2DK, 3DK
恵央団地	H15～H24	182	1LDK, 2LDK, 3LDK
旭団地	S52～S54	166	3DK
桜町団地	H3～H10	228	2K, 2DK, 2LDK, 3LDK
福住団地	S56	32	3DK
若草団地	S53～S59	28	3DK
有明団地	H元	33	2K, 2DK, 3LDK
寿第1団地	S54～S55・H14	58	1LDK, 2LDK, 3DK, 3LDK
寿第2団地	S41～S42	37	2DK
寿第3団地	S49～S50	22	2DK, 3DK
恵み野南団地	S60・H13	48	2DK, 2LDK, 3LDK
計		1,162	

## 目標 2 3 ごみの減量と適正な処理

環境負荷低減及び持続可能な循環型社会を形成するため、市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの低減化・リサイクルを促進するとともに、適正なごみ処理体制の維持のため施設整備及び施設の老朽化対策を進めました。

### ●ごみ処理施設の整備・適正管理

・ごみ処理場施設更新整備 (P.119・265) 46,970千円

- ・ごみ処理場浸出水貯留槽防水改修
- ・ごみ処理場油圧ショベル整備

・焼却施設管理運営 (P.121~122・265~266) 378,334千円

施設の安定稼働を図るため、適切な維持管理体制の構築を推進しました。また、焼却熱を利用した再生エネルギーの活用も持続的に実施しました。

令和3年度 焼却処理量 13,487.16t

### ●ごみの分別・収集体系の構築

・ごみの発生抑制及び適正処理の推進

1) 家庭ごみの発生抑制の状況

- ・ごみ減量率 17.5% (可燃・生ごみ・不燃・粗大・資源収集ごみ)

※有料化前の平成21年度対比

2) ごみ減量化に関する思想普及の取組み

- ・廃棄物減量啓発誌「ごみ減量大作戦」(年4回発行、1,096千円)

3) 集団資源回収奨励事業

区 分	数量	備考
集団資源回収量 (t)	1,666	集団資源回収量内訳
資源物分別収集量及び直接搬入量 (t)	2,289	紙類：1,569 t
資源回収団体奨励金交付事業		(うち紙製容器) 81 t
実施団体	75	ペットボトル・ビン・缶：44 t
交付額 (千円)	5,234	その他：53 t
資源物全体に対する割合 (%)	51.0	

4) 市民への周知 (P.118)

- ・2022年度改訂版ごみ分別辞典、ごみカレンダー全戸配布 8,205千円

## 目標 2 4 次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となり、「きれいなまちづくり」や、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図り、新エネルギー・省エネルギーについて、調査研究を進めました。

### ●地域環境美化活動への支援

#### ・環境美化活動の推進

- ・ボランティア袋の配布  
草木類専用 32,065 枚  
ポイ捨てごみ用 17,600 枚
- ・環境美化等推進員登録件数 61 町内会及び自治会 88 名
- ・集合住宅ごみ等優良保管場所累計認定件数 40 件

#### ・不法投棄防止パトロール

通常パトロール：209日間（2人体制）

### ●地域に応じた自然環境の保護と管理（P.114）

2,496千円

近年の産業活動や自動車などを発生源とする各種の公害から、市民の健康を守り良好な生活環境を維持するために、大気・水質等の調査・測定・監視や騒音・振動・悪臭等の発生防止のための指導等を実施しました。

#### ・水質汚濁調査

- ・定期河川水質調査：市内7河川10ヵ所（年6回）、追加調査：柏木川6ヶ所（年1回）
- ・ゴルフ場農薬検査：市内3ゴルフ場（年1回）、地下水調査：4ヶ所（TPH試験1回）

#### ・自動車騒音常時監視委託

- ・騒音測定：道東道（戸磯422）、恵庭栗山線（黄金南4丁目20、上山口365）
- ・面的評価：道東道 調査区間2.4km、恵庭栗山線 調査区間10.1km 計12.5km

### ●省資源・省エネルギーの促進、普及啓発（P.115）

5,069千円

「恵庭市 COOL CHOICE 宣言」に基づく地球温暖化対策に資する情報発信、環境省の補助金を活用した【地方と連携した地球温暖化対策活動推進事業】等を実施しました。

#### ・環境審議会の開催（3回）

第3次恵庭市環境基本計画の策定のため、協議を実施しました。

#### ・COOL CHOICE の取組み

- ・啓発動画制作  
（①断熱DIY②脱炭素なライフスタイル③「みどりのクレヨンどこいった？」読み聞かせ）
- ・絵本制作「みどりのクレヨンどこいった？」（市内の年中・年長の全児童へ配布：1,250部）
- ・フリーペーパー「ちゃんと」啓発記事掲載

#### ・恵庭市低炭素まちづくり促進事業

省エネ関連機器を導入する市民を対象に奨励金を交付  
対象機器：エネファーム 申請なし